

令和2年度 当初予算（案）の概況

1. 予算の特徴	1
2. 各会計予算の規模	2
3. 歳入予算（一般会計）	3
4. 歳出予算（一般会計）	5
5. 区民生活を支えるために重点的に取り組む施策	
・子どもに関する取組み	9
・保健福祉に関する取組み	17
・地域振興に関する取組み	27
・環境まちづくりに関する取組み	33
・政策経営に関する取組み	40
6. 今後の財政見通し	43

1

予算の特徴

安全を確保し、安心を支える予算



近年、日本各地で自然災害が多発し、昨年9月に台風第15号、10月に第19号が相次いで首都圏を直撃しました。本区でも区民生活や都市機能に影響が及んだことから、首都直下地震等の震災対策とともに台風などの風水害対策の取組みも必要となっています。

また、我が国全体では人口減少の傾向が顕著になりましたが、本区においては都心回帰や安全で安心して暮らしやすい施策の成果などから、区内への転入人口は子育て世帯を中心に増加傾向にあり、世帯構成の変化等に応じた施策が求められています。

さらに、将来に向けて、区民生活に関わる環境対策や都市を支える基盤整備事業を実施し、安全・安心なまちづくりを計画的に推進していかなければなりません。加えて、56年ぶりとなる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催への対応も必要です。

歳入面では、国による地方法人課税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直しなどが行われ、今後も新たな税制改正が行われるとの予測もあり、減収が危惧されています。

また、社会経済状況を鑑みると、雇用・所得環境の改善やゆるやかな景気回復の継続が予測されている一方、海外経済の動向や金融資本市場の変動、消費税率引上げ後の需要動向など、様々な不確定要素を抱えています。とりわけ、本区は、東京都と一つの団体としてみなされ地方交付税交付金の対象ではないことから、大規模災害や経済状況の変化により区民税などが大幅に減収となる事態が生じた場合でも交付金に頼ることができず、基金等の独自財源を確保しておく必要があります。

このような本区を取り巻く状況を踏まえつつ、令和2年度予算は、これまでの財政基盤をしっかりと確立・堅持しながら、「ちよだみらいプロジェクト - 千代田区第3次基本計画2015 - 」が掲げる、豊かな地域社会の実現をめざすことを基本的な考え方として予算を編成しました。また「安全を確保し、安心を支える」ことに重点を置き、台風や大雨に関わる風水害対策、子育て支援や教育環境に関わる施策、高齢者や障害者などの福祉施策や受動喫煙防止等の保健施策など、区民生活に密接に関わる事業に加え、間近に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて必要な予算も計上しています。

なお、国の税制改正や社会経済動向など歳入面に影響を及ぼす要因の予測には難しい面もありますが、将来に向け強固な財政基盤と健全な財政運営に資するため、中長期的な視点からの事業推移や10年間の財政状況の見通し、基金の活用などについて予測を行いました。この予測を踏まえ、今後も引き継ぎ、安定的な区民サービスの提供に努めていきます。

2

各会計予算の規模

- 令和2年度の全会計合計の予算規模は、765億27百万円、前年度対比44億47百万円、6.2%の増となり、全会計合計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。
- 一般会計は、646億26百万円、前年度対比41億44百万円、6.9%の増となり、一般会計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。なお、区民一人あたりの予算額は98万円(※)となりました。
- 国民健康保険事業会計は、57億26百万円、前年度対比2億5百万円、3.7%の増となりました。
- 介護保険特別会計は、43億17百万円、前年度対比△6百万円、△0.1%の減となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、18億59百万円、前年度対比1億5百万円、6.0%の増となりました。

(※) 令和2年度一般会計予算額を令和2年1月1日現在の住民基本台帳人口65,942人で除して算出した額です。(千円未満は四捨五入しています。)

各会計予算の編成状況

(単位：百万円)

会 計 名	令和2年度	令和元年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	64,626	60,482	4,144	6.9%
国民健康保険事業会計	5,726	5,521	205	3.7%
介護保険特別会計	4,317	4,323	△6	△0.1%
後期高齢者医療特別会計	1,859	1,754	105	6.0%
全 会 計 合 計	76,527	72,080	4,447	6.2%

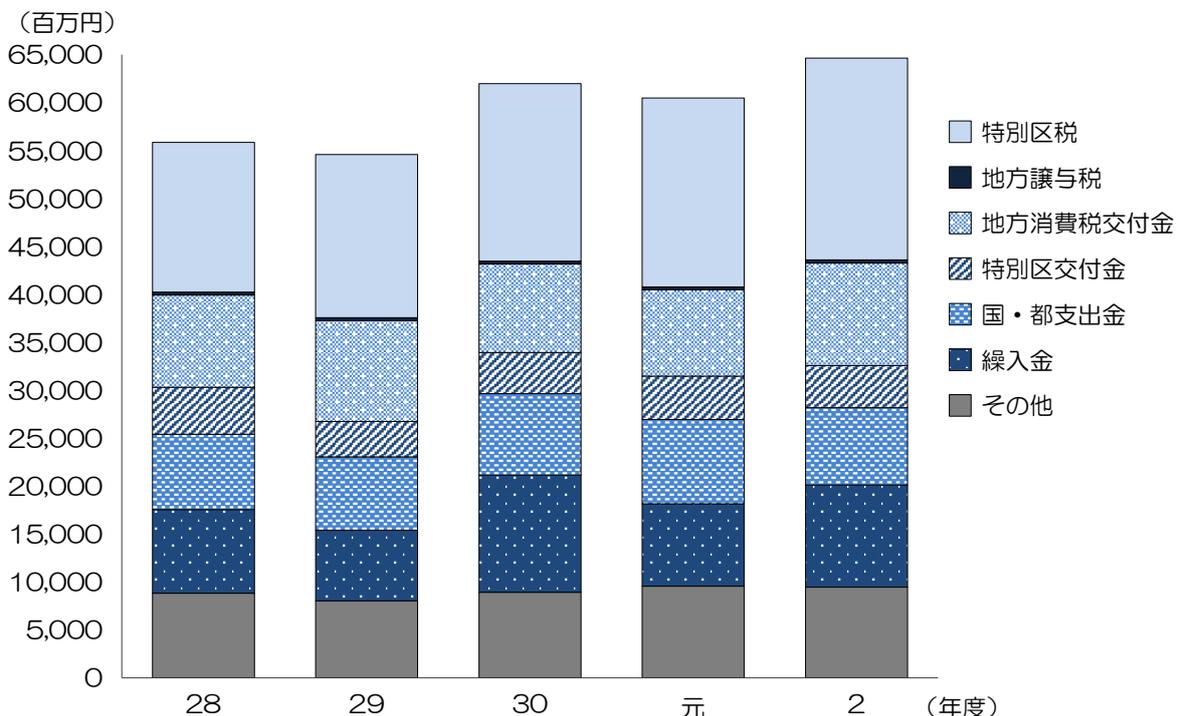
※表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。

3

歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比 13 億 42 百万円、6.8%の増となりました。このうち特別区民税は、納税義務者数の増などにより、前年度対比 12 億 39 百万円、7.6%の増、軽自動車税は、前年度対比 4 百万円、11.9%の増、特別区たばこ税は、前年度対比 92 百万円、2.7%の増、入湯税は、前年度対比 7 百万円、88.9%の増となりました。
- 地方消費税交付金は、暦日要因のため本来令和元年度に交付される交付金が令和 2 年度に繰り越されることなどにより、前年度対比 17 億円、18.9%の増となりました。
- 特別区交付金は、特別区民税の増による基準財政収入額の増などにより、前年度対比△ 1 億 36 百万円、△3.0%の減となりました。
- 分担金及び負担金は、お茶の水橋の整備などの事業進捗に伴う文京区からの「橋梁補修事業費負担金」△ 79 百万円の減などにより、前年度対比△ 1 億 62 百万円、△16.5%の減となりました。
- 国庫支出金は、「私立保育園保育実施運営費」1 億 21 百万円の増はあるものの、電線類地中化などの事業進捗に伴う「社会資本整備総合交付金」△ 4 億 11 百万円の減などにより、前年度対比△ 4 億 35 百万円、△9.7%の減となりました。
- 都支出金は、「保育所等賃借料補助事業補助金」2 億 47 百万円の増はあるものの、北の丸公園周辺地域整備の完了などによる「都市計画交付金」△ 4 億 27 百万円の減などにより、前年度対比△ 2 億 83 百万円、△6.6%の減となりました。
- 繰入金は、（仮称）外神田一丁目公共施設整備などの事業進捗に伴う「社会資本等整備基金繰入金」10 億 62 百万円、旧和泉町ポンプ所跡地の購入に伴う「財政調整基金繰入金」7 億 50 百万円の増などにより、前年度対比 20 億 53 百万円、23.9%の増となりました。

歳入予算額の推移



歳入予算一覧表

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
1 特 別 区 税	21,050,100	32.6	19,708,470	32.6	1,341,630	6.8
特別区民税	17,450,492	27.0	16,211,423	26.8	1,239,069	7.6
軽自動車税	34,829	0.1	31,121	0.1	3,708	11.9
特別区たばこ税	3,550,836	5.5	3,458,544	5.7	92,292	2.7
入 湯 税	13,943	0.0	7,382	0.0	6,561	88.9
2 地 方 譲 与 税	314,700	0.5	302,300	0.5	12,400	4.1
3 利 子 割 交 付 金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	200,000	0.3	200,000	0.3	0	0.0
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	10,700,000	16.6	9,000,000	14.9	1,700,000	18.9
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	0.0	60,000	0.1	△59,999	△100.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金	60,000	0.1	27,000	0.0	33,000	122.2
9 地 方 特 例 交 付 金	30,000	0.0	11,000	0.0	19,000	172.7
10 特 別 区 交 付 金	4,381,678	6.8	4,517,679	7.5	△136,001	△3.0
11 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
12 分 担 金 及 び 負 担 金	816,804	1.3	978,613	1.6	△161,809	△16.5
13 使 用 料 及 び 手 数 料	6,040,947	9.3	6,012,438	9.9	28,509	0.5
14 国 庫 支 出 金	4,061,512	6.3	4,496,537	7.4	△435,025	△9.7
15 都 支 出 金	4,009,920	6.2	4,293,105	7.1	△283,185	△6.6
16 財 産 収 入	325,169	0.5	326,478	0.5	△1,309	△0.4
17 寄 附 金	40,120	0.1	38,120	0.1	2,000	5.2
18 繰 入 金	10,660,380	16.5	8,607,355	14.2	2,053,025	23.9
19 繰 越 金	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
20 諸 収 入	1,609,436	2.5	1,577,839	2.6	31,597	2.0
歳 入 合 計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（14,700千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

4

歳出予算（一般会計）

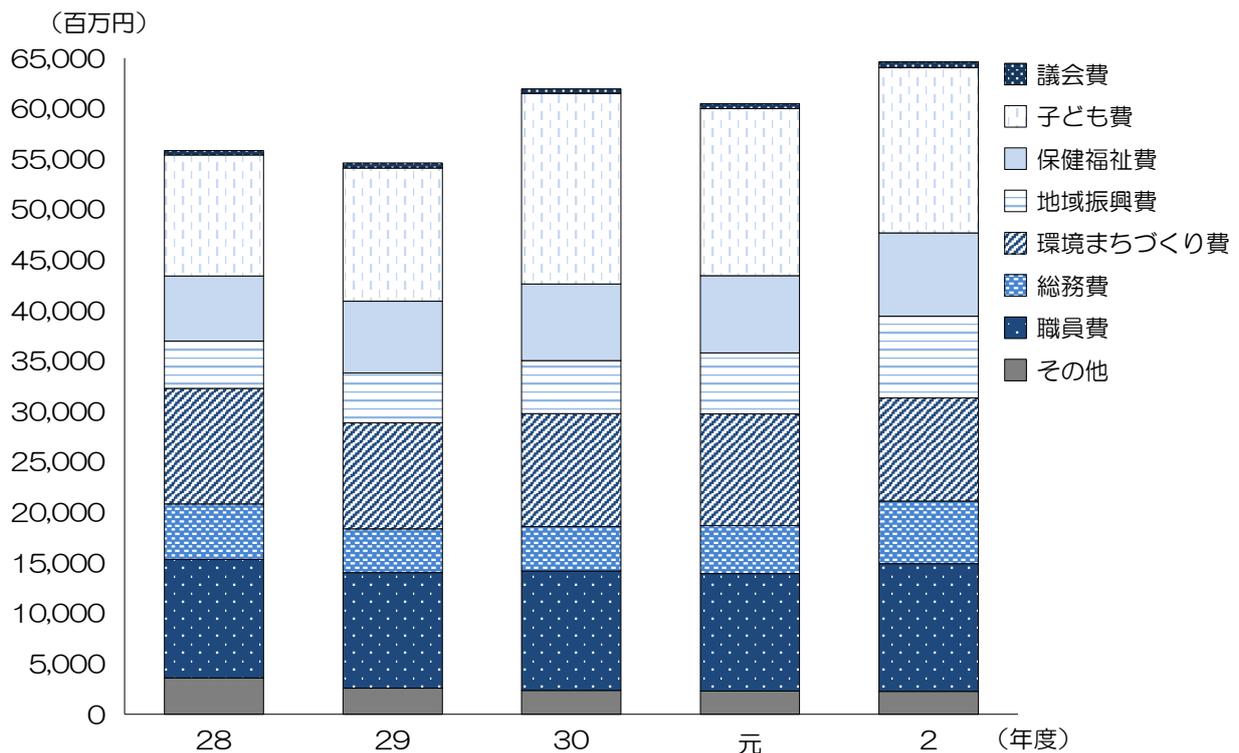
（1）目的別歳出

- 議会費は、「議会運営システムの整備」77百万円の増などにより、前年度対比72百万円、15.0%の増となりました。
- 子ども費は、「私立保育所等運営補助」6億97百万円の増があるものの、「（仮称）四番町公共施設整備」の事業進捗等による△8億79百万円の減などにより、前年度対比△1億58百万円、△1.0%の減となりました。
- 保健福祉費は、「（仮称）二番町高齢者施設の整備」3億59百万円の増などにより、前年度対比5億71百万円、7.4%の増となりました。
- 地域振興費は、「（仮称）外神田一丁目公共施設整備」20億4百万円の増などにより、前年度対比20億89百万円、34.7%の増となりました。
- 環境まちづくり費は、「（仮称）区立麴町仮住宅の整備」14億18百万円の増があるものの、「北の丸公園周辺地域整備の推進」完了による△9億58百万円、「国史跡常磐橋の修復」完了による△5億98百万円、「神田駿河台地域まちづくりの推進」の事業進捗による△3億10百万円、「電線類地中化の推進」の事業進捗による△2億87百万円の減などにより、前年度対比△8億77百万円、△7.9%の減となりました。
- 総務費は、「旧和泉町ポンプ所跡地の購入」7億61百万円、「総合住民サービスシステムのリプレイス」6億39百万円の増などにより、前年度対比14億68百万円、31.0%の増となりました。
- 職員費は、会計年度任用職員制度の導入や定年退職者数の増などにより、前年度対比9億92百万円、8.5%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債利子償還金」△2百万円の減などにより、前年度対比△1百万円、△1.6%の減となりました。

歳出予算一覧表（目的別）

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
1 議 会 費	552,685	0.9	480,747	0.8	71,938	15.0
2 子 ど も 費	16,397,226	25.4	16,555,393	27.4	△158,167	△1.0
3 保 健 福 祉 費	8,234,009	12.7	7,663,453	12.7	570,556	7.4
4 地 域 振 興 費	8,101,960	12.5	6,013,394	9.9	2,088,566	34.7
5 環 境 ま ち づ くり 費	10,223,417	15.8	11,100,261	18.4	△876,844	△7.9
6 総 務 費	6,208,410	9.6	4,740,053	7.8	1,468,357	31.0
7 職 員 費	12,629,355	19.5	11,637,582	19.2	991,773	8.5
8 公 債 費	69,844	0.1	70,997	0.1	△1,153	△1.6
9 諸 支 出 金	2,058,861	3.2	2,070,054	3.4	△11,193	△0.5
10 予 備 費	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

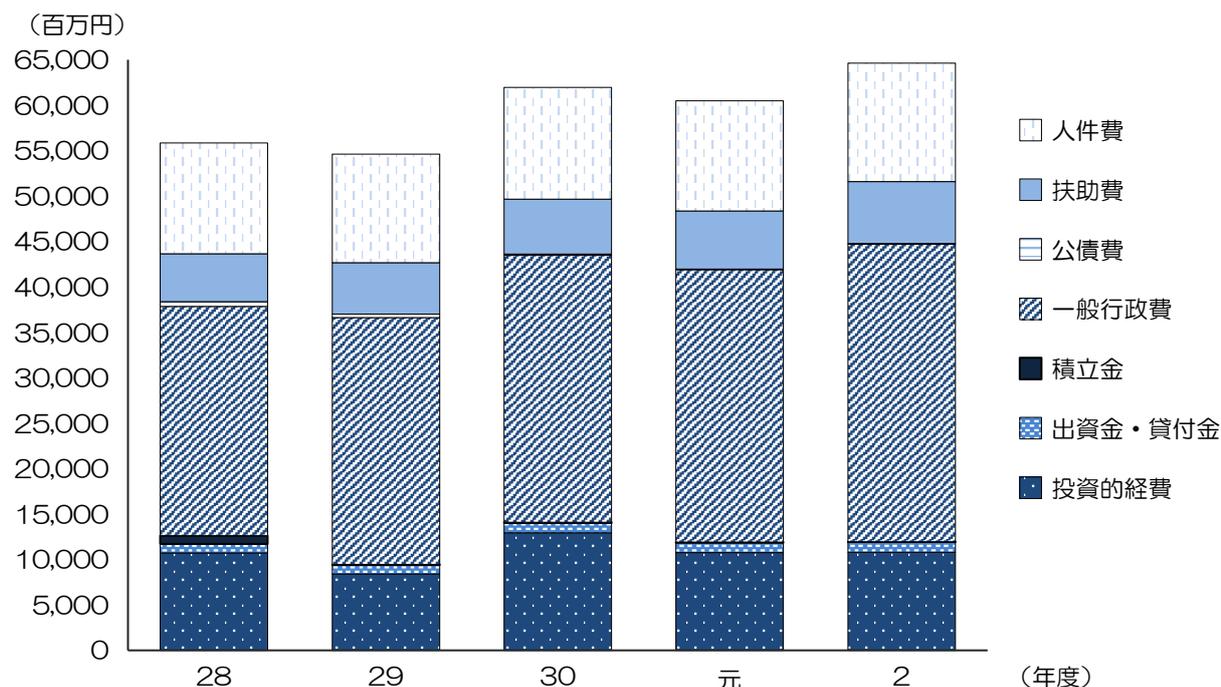
歳出予算額（目的別）の推移



(2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比 13 億 36 百万円、7.2%の増となりました。
- そのうち人件費は、会計年度任用職員制度の導入や定年退職者数の増などにより、前年度対比 9 億 31 百万円、7.7%の増となりました。
- 扶助費は、子ども・子育て支援法に基づく給付である「私立保育所等運営補助」2 億 68 百万円の増などにより、前年度対比 4 億 7 百万円、6.4%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債利子償還金」△ 2 百万円の減などにより、前年度対比△ 1 百万円、△ 1.6%の減となりました。
- 一般行政費は、前年度対比 27 億 63 百万円、9.2%の増となりました。
- そのうち物件費は、「総合住民サービスシステムのリプレース」6 億 39 百万円、「公園維持管理」97 百万円、「人材派遣委託」94 百万円、「情報連絡網の整備」90 百万円、「お茶の水小学校・幼稚園の整備（埋蔵文化財調査）」86 百万円、「障害者アート世界展 2020」74 百万円、「ちよだ安全・安心ネットワークの推進」69 百万円、「東京 2020 大会関連事業」51 百万円の増などにより、前年度対比 17 億 8 百万円、10.3%の増となりました。
- 補助費等は、私立保育園等への区独自や上乗せ補助等を行っている「私立保育所等運営補助」4 億 29 百万円、「(仮称) 二番町高齢者施設の整備」3 億 59 百万円の増などにより、前年度対比 10 億 65 百万円、10.1%の増となりました。
- 投資的経費は、「北の丸公園周辺地域整備の推進」完了による△ 9 億 58 百万円、「(仮称) 四番町公共施設整備」の事業進捗による△ 6 億 28 百万円、「国史跡常磐橋の修復」完了による△ 5 億 98 百万円の減はあるものの、「(仮称) 外神田一丁目公共施設整備」20 億 3 百万円の増などにより、前年度対比 46 百万円、0.4%の増となりました。

歳出予算額（性質別）の推移

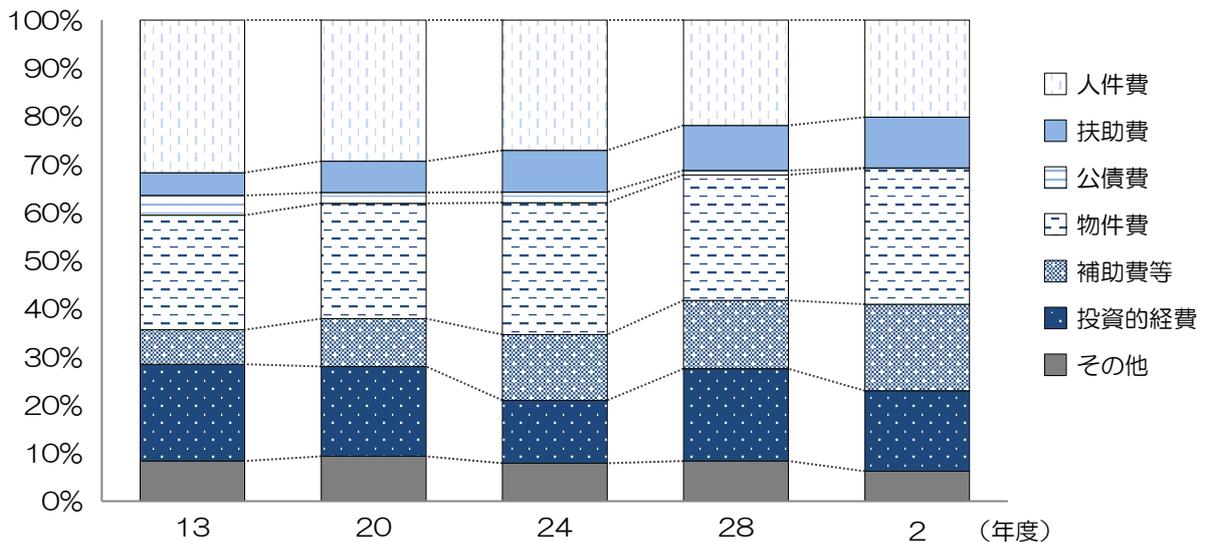


歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
義務的経費	19,908,913	30.8	18,572,666	30.7	1,336,247	7.2
人件費	13,044,048	20.2	12,113,479	20.0	930,569	7.7
扶助費	6,795,021	10.5	6,388,190	10.6	406,831	6.4
公債費	69,844	0.1	70,997	0.1	△1,153	△1.6
一般行政費	32,744,309	50.7	29,981,089	49.6	2,763,220	9.2
物件費	18,252,100	28.2	16,544,375	27.4	1,707,725	10.3
補助費等	11,642,212	18.0	10,576,714	17.5	1,065,498	10.1
繰出金	1,994,115	3.1	2,005,143	3.3	△11,028	△0.5
その他	855,882	1.3	854,857	1.4	1,025	0.1
積立金	64,746	0.1	64,911	0.1	△165	△0.3
貸付金	1,003,575	1.6	1,003,575	1.7	0	0.0
出資金	97,810	0.2	99,046	0.2	△1,236	△1.2
投資的経費	10,806,414	16.7	10,760,647	17.8	45,767	0.4
歳出合計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、予備費です。
 ※平成24年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

子どもに関する取組み 予算総額 16,397 百万円 (令和元年度 16,555 百万円)

保育園と学童クラブにおける「待機児童ゼロ」をめざし、私立認可保育所・私立学童クラブの整備や運営の支援を行い、子どもの健やかな成長に向けた支援を行います。また、大人も子どもも共に成長していく「共育」の理念のもとに、妊娠期を含む子育て世代や0～18歳までの子どもの成長を見通した切れ目のない支援体制の充実、子育て世代の経済的負担軽減を行い、子育て環境の向上をめざします。

■ 保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます

保護者の就業形態等の多様化に応じた教育・保育の形態が選べ、どの教育・保育施設でも子どもたちがのびのび成長できるよう良好な環境を整えます。

- 増大する保育需要に対応するため、令和2年度には私立認可保育所等の定員283名の増を見込んでいます（P16参照）。また、令和3年度に3か所の私立認可保育所の開設をめざし、定員は208名の増を見込んでいます。さらに、保育所開設用地の確保のため、区有地（旧高齢者センター跡地）を活用し、保育所用地とするため既存建物を解体し該当用地を整備するなど、保育園の待機児童ゼロをめざし保育供給量の拡大に取り組みます。
- 保育環境の充実・保育の質の確保を図るため、保育所運営事業者に対し、配慮を要する乳幼児の保育を行う場合の「障害児等対応加算」等の加算を新設します。
- 増大する学童クラブ入会希望に対応するため、令和3年度に麴町地区に1か所、神田地区に1か所の私立学童クラブの開設をめざします。さらに、夏休み等の長期休暇中に開室する放課後子ども教室を増やし、プログラムの充実を図るとともに、学校内学童クラブとの連携を強め、学童クラブの待機児童ゼロを継続します。加えて、事業者の職員に対する給与等の処遇改善を継続実施し、人材の定着によるスキルアップ及びサービスの向上を図ります。
- （仮称）四番町公共施設の整備について、既存施設の解体工事及び新築工事を進め、令和6年度の竣工をめざします。
- 集団保育を受けることが困難な病気の急性期において児童を預けられる施設の二

ーズが高まっていることから、新たに病児保育施設を整備し、保護者の就労等を支援します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
待機児童ゼロ対策（保育園・学童クラブ）				
私立保育所等整備補助（私立保育所）		1,103,958	1,201,589	△ 97,631
私立保育所等整備補助（私立学童クラブ）		132,679	150,982	△ 18,303
保育所用地の整備		115,382	91,752	23,630
民間事業者支援（保育園）				
私立保育所等運営補助	拡充 独自	3,572,799	2,876,075	696,724
地域型保育事業運営補助	拡充 独自	567,478	622,478	△ 55,000
認証保育所等運営補助	独自	1,316,773	1,179,123	137,650
民間事業者支援（学童クラブ）				
いずみこどもプラザ運営補助		102,862	102,862	0
富士見わんぱくひろば事業運営		125,008	124,570	438
放課後子ども教室	拡充	151,360	143,296	8,064
学校内学童クラブ		219,339	219,339	0
私立学童クラブ運営補助		562,149	556,975	5,174
児童施設の整備				
（仮称）四番町公共施設整備		141,652	1,021,097	△ 879,445
その他				
病児保育室事業	新規	42,316	0	42,316
保育ICT化の推進	新規	28,186	0	28,186

■ 安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます

妊娠・出産から子育てまで継続した支援を行い、子育てに関する不安が少なく、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるまちづくりをめざします。

- 障害や発達に課題のある子どもの多くに「(仮称)子どもケアプラン」を作成するとともに、子どもの支援情報をまとめた「子育てカルテ」を活用して、関係機関と連携し情報の提供や共有を行うことで、妊娠期から18歳までの切れ目ない支援を提供する体制を整えます。
- 令和2年度で「千代田区障害児福祉計画」が最終年度を迎えることから、障害児通所支援等を提供するための体制の確保やサービスの目標量を定めるため、令和元年度に障害者(児)を対象として実施したアンケートの結果等を踏まえて、次期計画を策定します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
子ども・子育てに関する総合相談／児童の虐待防止・早期発見				
障害児ケアプラン	独自	19,896	20,222	△ 326
児童の虐待防止・早期発見				
子どもの権利擁護に関する調査検討	新規	3,000	0	3,000
子どもを支援するための給付				
児童手当等の支給	独自	920,333	904,608	15,725
こども医療費助成	独自	411,152	375,841	35,311
その他				
子ども発達センター「さくらキッズ」	独自	92,304	91,459	845
第2期障害児福祉計画の策定	新規	2,000	0	2,000

■ 他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます

個に応じた指導の充実を図るとともに、多様な人間関係の中で、他者を思いやり、相手の立場に立って考えられる力を育むため、心の教育を充実します。

- 児童虐待やいじめ・不登校などが増加傾向にある中、子どもを保護する対象としてだけでなく、一人の人間として権利を有する主体として捉える理念が広く示されるようになってきました。そこで、子どもたちや保護者、学校関係者など子どもたちと関わる方々の様々な「子どもと大人との関わり」についての意見や考え方を、アンケート調査などにより聴き取り、子どもの権利擁護をどのように進めていくか検討を行います。
- 特別支援教育の充実を図るため、区立保育園・こども園・幼稚園・小学校・中学校・中等教育学校に心理等の専門家を派遣し、特別な支援が必要な児童等の状況を把握し、適切な指導・支援方法について教職員や保護者に助言します。また、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒が日本語を用いて安心して学校生活を送れるよう、在籍校への訪問指導を引き続き行っていきます。
- 学校・園の教員等の様々な対応の負担軽減が課題となっています。このため、弁護士や臨床心理士等からの助言・支援など学校等対策支援を強化することにより、教員等が子どもと向き合う時間を確保するとともに、教員等の資質・能力を向上させる機会を充実させ、質の高い学校教育を推進します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
心の教育の推進／多様な体験活動の充実／子どものいじめ防止対策				
心の教育の推進	独自	8,400	7,506	894
子どものいじめ防止対策				
子どもの権利擁護に関する調査検討（再掲）	新規	3,000	0	3,000
個に応じた指導の充実				
個に応じた指導の充実		125,744	100,616	25,128
学校等対策支援		1,640	1,220	420

■ グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます

社会の変革に対応するため、国際教育の一層の推進に努め、学力・体力の向上を図るとともに、各学校の実情を活かした特色ある教育の充実を図ります。

- 特色ある教育活動として、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の経験が、子どもたち一人ひとりにとって、その後の人生の糧となるような掛け替えのないものとなるようオリンピック・パラリンピック教育を教育課程に明確に位置づけ、年間を通じた教育活動を行っていきます。また、部活動における児童・生徒の意欲や技術力の向上、学校・園で長年行っている伝統的な行事を継承していくため、地域等の外部指導員を活用するなど地域との連携を図ります。
- 小学校の学習指導要領が改訂され、3・4年生は週1回で年間35時間の外国語活動を行い、5・6年生は週2回で年間70時間の「教科型」の英語を行うほか、東京都教育委員会が進める国際教育事業「Tokyo Global Gateway」を活用した校外学習を、各小学校で年1回実施し、国際理解教育の推進を図っていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進／国際教育の推進／伝統文化理解教育の推進					
特色ある教育活動		独自	71,359	65,114	6,245
きめ細かな指導の推進／健康・食育・体力向上プランの推進					
ICT教育の推進		独自	284,018	294,679	△ 10,661
国際教育の推進					
国際教育の推進		独自	48,095	45,070	3,025

■ 児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます

児童・生徒が一日の大半を過ごす教育施設を発育状況にあわせて良好な環境を整えるとともに、子どもが安全で健やかに成長できるまちづくりをめざします。

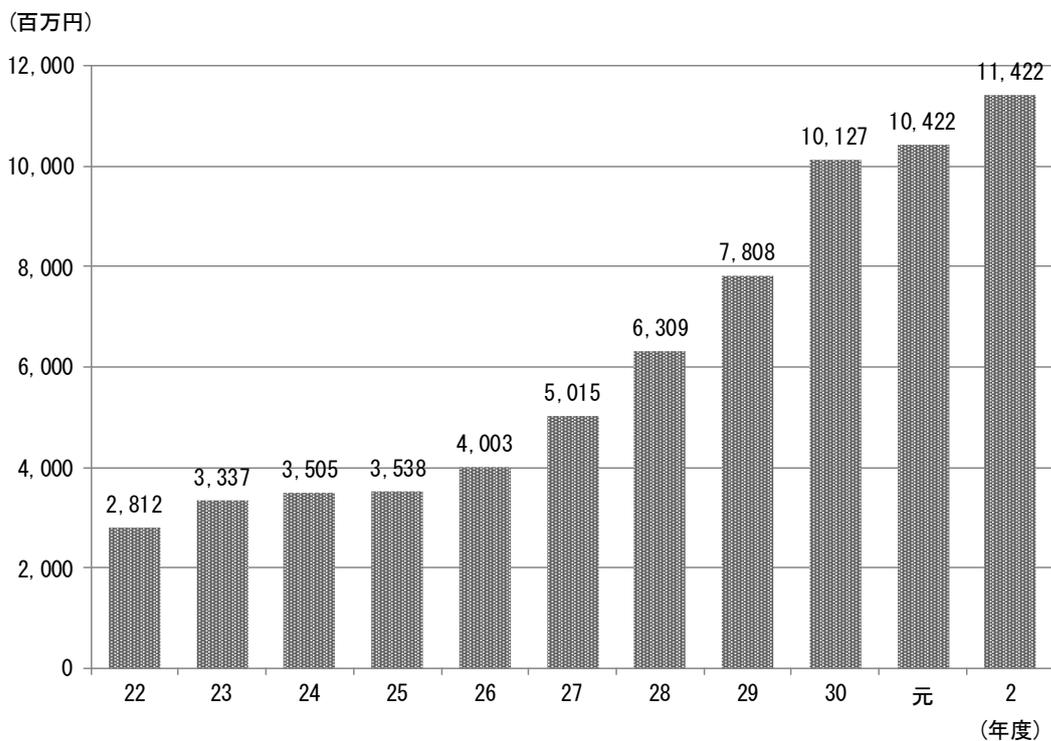
- 和泉小学校・いずみこども園等施設の設備の老朽化や安全管理上の課題について、学校関係者や保護者、地域の関係者と意見交換・情報共有を行うなどし、整備方針を策定します。
- お茶の水小学校・幼稚園は解体工事完了後、校舎新築工事に着手します。また、解体工事にあたり遺跡存否確認調査（試掘調査）を実施したところ、遺構・遺物の存在が確認されたため、文化財保護法に基づく埋蔵文化財調査を行います。
- 子どもたちが安全でのびのびと外遊びができ、健やかにたくましく育つことができるよう支援するため、子どもの遊び場事業のさらなる推進に努めます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
教育施設の整備				
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討		7,094	6,958	136
お茶の水小学校・幼稚園の整備関連事業		1,249,951	1,249,043	908
子どもの遊び場確保の取組み				
子どもの遊び場確保の取組み	独自	88,342	84,185	4,157

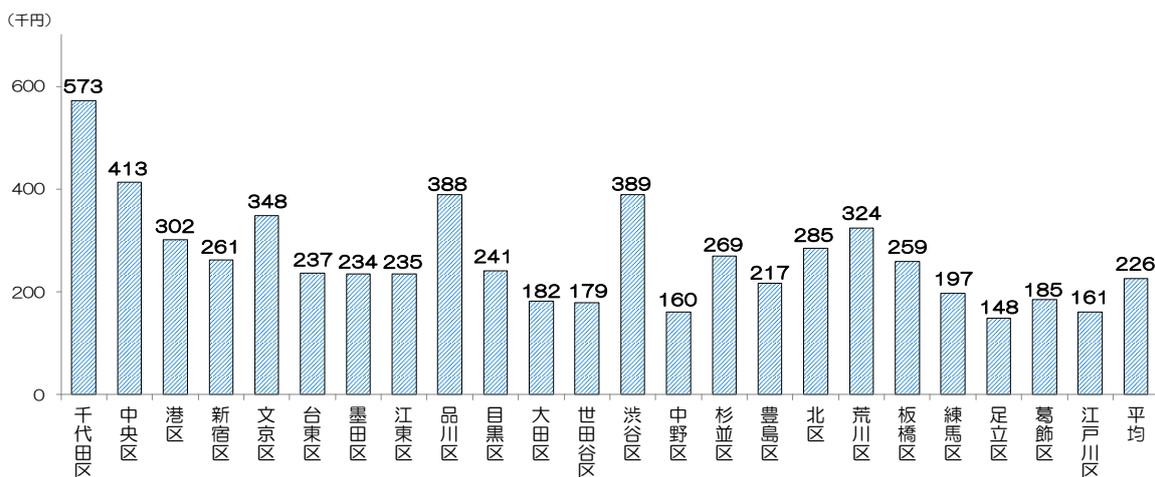
● 子育て関連予算額の推移

令和2年度の子ども一人あたりの予算額は1,087千円となります。



※予算額：保育園やこども園、学童クラブなど、児童福祉に要する経費を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

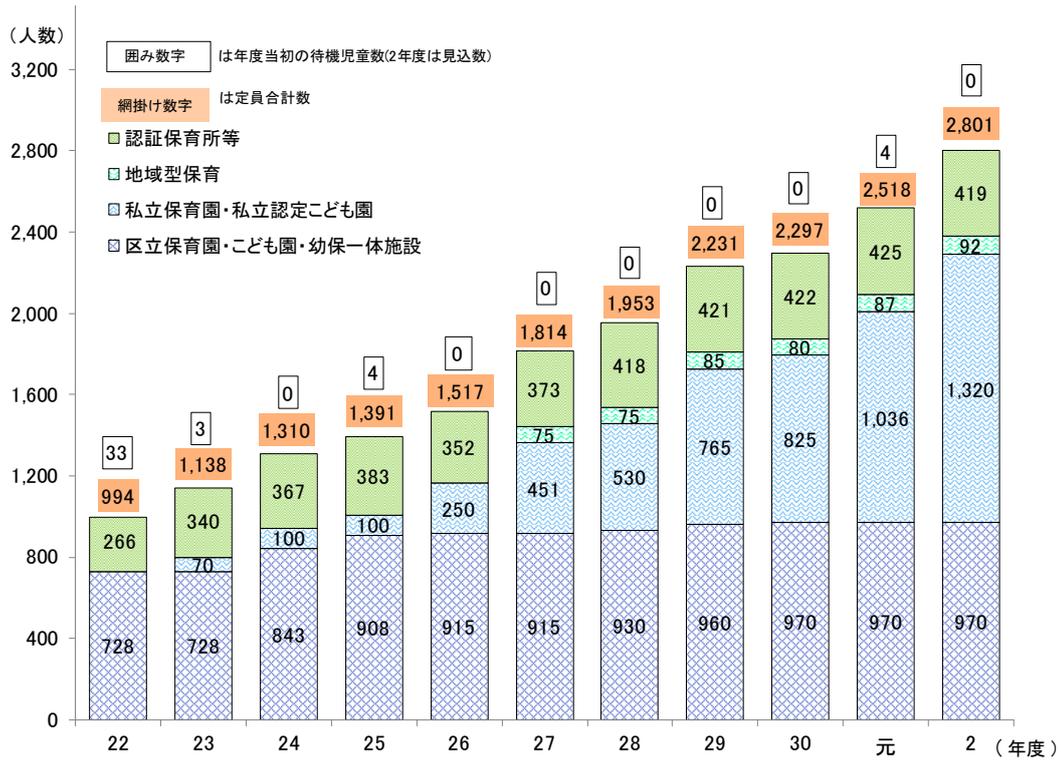
● 児童・生徒一人あたりの教育費決算額 23 区比較 (平成 30 年度決算)



※地方財政状況調査及び学校基本調査を基に千代田区で作成しています。

※積立金、投資的経費及び東京都教職員の人件費は含まれていません。

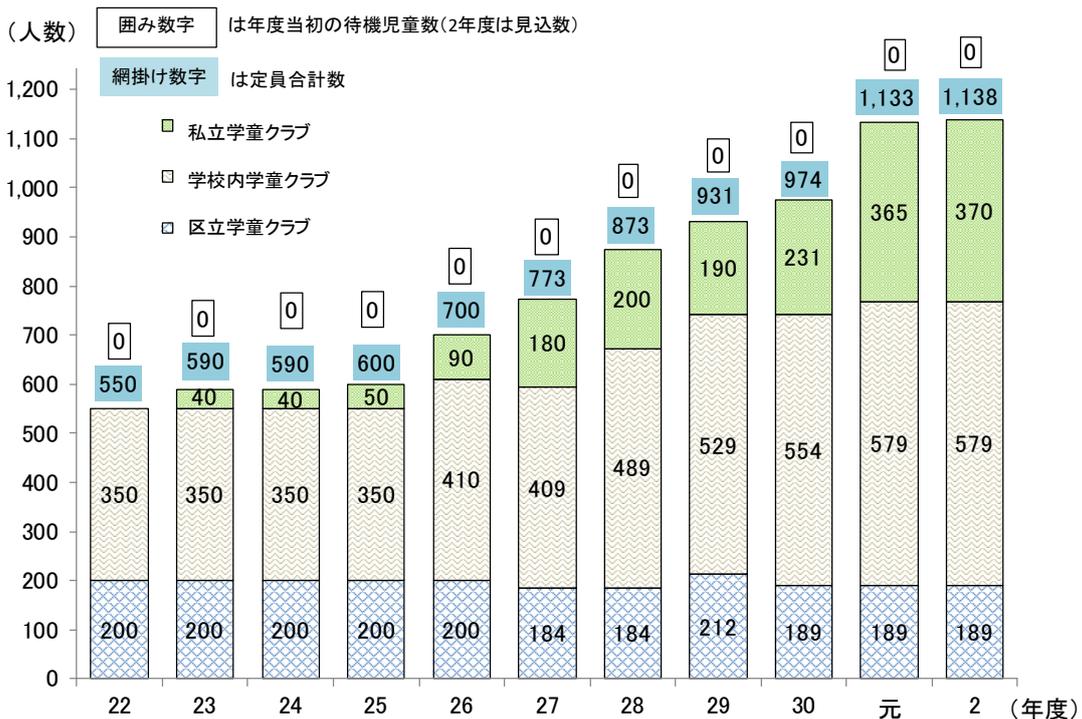
● 保育園の定員数と待機児童数の推移



【待機児童の定義 ※待機児童とは以下の定義を全て満たす方】

- ・認可保育園への入園申し込みを「入園できれば希望園以外でも良い」とし、区内全園を希望していても入園することができなかった。
- ・認可保育園や認証保育所等の施設に入所していない。
- ・当該年度中に内定した園を辞退していない。
- ・居宅訪問型保育事業の利用を辞退した（令和元年度から追加）。

● 学童クラブの定員数と待機児童数の推移



保健福祉に関する取組み 予算総額8,234百万円 (令和元年度 7,663百万円)

人生100年時代を迎え、障害があっても、高齢になっても、可能な限り誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築・推進・深化を図り、必要な福祉サービス基盤の整備と提供の充実につとめます。

さらに、子どもから高齢者までライフステージに応じて心身ともに健康で快適な生活が営める社会をめざし、予防接種の推進や健康寿命の延伸などに取り組み、一人ひとりの健康づくりをより一層支援します。

- **感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します**
- **一人ひとりの健康づくりを支援します**
- **安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます**

区民等の生命と健康を守るために、感染症や食中毒等を予防するとともに、健康危機が発生した際に迅速かつ適切に対応するための体制を整備します。また、区民がいきいきと健康で生活し続けられるよう、心身の健康づくりを支援します。さらに、区民が安心して地域生活できるよう、状況に応じて医療機関や在宅で適切な医療が受けられる仕組みを強化するとともに、医療と介護の連携推進に取り組みます。

- 近年、ねずみ関連の苦情や相談が増加しています。区内の衛生的な環境を確保するため、殺鼠剤配布を継続するとともに、正確な生息状況を把握するため、調査の規模を拡大します。また、ねずみ対策に関するリーフレットを作成し、区民や事業者などへの普及啓発を図ります。
- 令和2年10月から、定期予防接種にロタウイルスワクチンが追加されます。これに伴い、定期予防接種化されるまでの間、区独自に任意予防接種として実施し、接種費用を全額助成します。さらに、おたふくかぜ予防接種の助成回数を1回から2回に増やし、感染症予防の強化と子育て世代の経済的負担軽減を図ります。
- 区は、「千代田区歯と口腔の健康づくり推進条例」を制定し、関係機関と連携して「歯と口腔の健康づくり」の普及啓発活動を行っています。令和2年度は、区内の歯科医師会が11月のキャンペーン月間に合わせて、保健所を会場に無料でおこなう口腔がんチェックの取組みを支援します。

- 40歳以上の全区民に対して、特定健康診査に含まれない独自の検査項目を成人健診として実施しています。令和2年度からは、加齢に伴う難聴の早期発見のため、聞こえに不安がある方を対象に聴力検査を独自に追加して実施します。
- 改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例の全面施行に伴い、区民や施設の管理権原者等に向けて法令等の趣旨や規制内容の周知を図るとともに、法令等の違反に対しては、行政指導・処分を行い、自らの意思で受動喫煙を避けることができる社会環境の整備を促進します。
- 来街者の増加が見込まれる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会期間中の医療体制を確保するため、休日応急診療の充実を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
感染症や食中毒、熱中症予防の普及啓発等(※)				
熱中症予防対策	拡充	10,162	7,937	2,225
ねずみ・衛生害虫駆除	拡充	3,357	2,615	742
予防接種の推進				
予防接種	拡充	412,509	356,049	56,460
歯と口腔の健康増進				
歯科口腔保健の推進	独自	54,250	53,425	825
データに基づく効果的な健診等の推進				
成人健診	拡充	75,966	66,704	9,262
長寿健診		23,008	22,324	684
特定健康診査・特定保健指導(国民健康保険事業会計)		35,394	35,403	△9
受動喫煙対策の推進(※)				
受動喫煙防止対策	拡充	26,761	14,139	12,622
その他				
休日応急診療	拡充 独自	56,676	55,313	1,363

(※) 「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

■ 高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します

■ 認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します

地域包括ケアシステムを構築、推進し、高齢者が介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに努めます。また、認知症の早期発見と治療に努め、生涯できる限り地域で尊厳を持って生活できるような地域づくりを進めます。

- 介護状態になる以前からのフレイル対策と重度化を抑制するため、「フレイル（虚弱）」の概念や予防の重要性をさらに普及啓発するとともに、令和2年度からは講座の実施会場数を増やし講演会も実施します。また、フレイル状態を客観的に判断するための事業を開始し、フレイル対策・介護予防の取り組みを進めていきます。
- 区内で入所、入居等のサービスを提供する介護施設に対して、安定的かつ健全な運営、サービスの質の向上・維持及び利用者の負担軽減を目的として助成を行っています。令和2年度からは、各介護施設の夜勤体制を強化する助成を拡充します。
- （仮称）二番町高齢者施設の令和3年度開設に向けて、開設当初から安定した質の高いサービスの提供が行われるよう、施設の人材確保等の経費を助成します。
- 高齢者の尊厳ある暮らしの実現をめざし、高齢者虐待に関する普及啓発、高齢者虐待防止ネットワークの構築、虐待の早期発見及び見守りの仕組みづくり等を行っています。令和2年度は、高齢者虐待に関する区民向けパンフレットを新たに作成・配布し、高齢者虐待のより一層の防止を図ります。
- 千代田区社会福祉協議会は、地域住民、ボランティア団体、企業等と協働し、区と連携しながら、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、様々な地域福祉活動に取り組んでいます。令和2年度は、（仮称）外神田一丁目公共施設に社会福祉協議会の新たな活動拠点を設置する準備を行うとともに、組織・事業・人員等の法人運営体制の強化に向けた一層の取り組みを支援するため、必要な運営補助等を行います。
- 高齢者総合サポートセンター内の高齢者活動センターでは、マシントレーニングの利用者増を踏まえ、健康運動指導士を配置するとともに、訓練機器を増配置し、フレイル対策・介護予防の拠点機能を強化します。また、研修センターでは、介護の専門職が自宅へ訪問し、日常の介護の状況を把握した上で、介護技術を指導する訪問型介護研修を新たに開始するとともに、専門職が抱える困難事例解決に向けて、有識者が専門職に助言や指導を行う事例検討会を実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
フレイル対策・介護予防の推進 (※)				
フレイル対策事業	拡充 独自	12,420	9,065	3,355
相談体制の充実				
高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談）	独自	133,000	133,000	0
よろず総合相談	独自	49,466	49,778	△312
包括的支援事業（介護保険特別会計）		43,500	42,700	800
介護施設等の基盤整備／認知症対応施設の整備				
介護施設運営助成	拡充 独自	143,683	128,199	15,484
（仮称）二番町高齢者施設の開設支援	新規	72,993	0	72,993
（仮称）二番町高齢者施設の整備		988,630	629,300	359,330
（仮称）神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	新規	22,400	0	22,400
（仮称）神田錦町三丁目福祉施設の整備		115,700	8,493	107,207
高齢者虐待防止・早期発見・対応の体制整備 (※)				
高齢者虐待防止の推進	拡充	1,937	876	1,061
ハイリスク高齢者への家庭訪問／認知症相談と支援サービスの充実／認知症サポーターの養成／認知症ケアパスの活用				
認知症支援サービス	独自	5,102	5,084	18
認知症総合支援事業（介護保険特別会計）		13,017	13,725	△708
その他				
社会福祉協議会支援		210,599	194,632	15,967
いきいきプラザ一番町管理運営		358,272	385,137	△26,865
高齢者総合サポートセンター管理運営（指定管理料）	拡充 独自	135,581	128,742	6,839

(※) 「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

■ 障害があっても暮らしやすい地域をめざします

誰にも優しい社会に向け、障害者が日常生活で必要とするサービス・支援の充実を図ります。

- 区は、障害者計画と第5期障害福祉計画等の一体的な計画として「千代田区障害福祉プラン」を平成30年3月に策定しました。令和2年度は、現行の障害者計画の見直しによる改定を行い、障害の種類に応じて医療とも密接に連携するとともに、第6期障害福祉計画を策定します。
- 障害等のある方や要介護要支援高齢者の増加を見据えて、旧千代田保健所敷地に障害者のグループホーム、認知症高齢者グループホーム及び地域に開かれた機能を有する施設整備を計画しています。令和2年度は、計画施設の機能を最も効果的にするための整備・運営の調査・検討を行い、運営事業者の募集・選定準備を進めます。また、既存施設の解体工事の準備を行います。
- 障害等のある方の積極的な社会参加と生活圏の拡大を図るため、福祉タクシー券又は自動車燃料費の一部を助成しています。令和2年度からは、タクシー料金の値上げや原油高騰に伴う燃料費の値上げ等に伴い、月額助成額を3,550円から3,700円に拡充します。
- 身体障害者手帳の交付対象とならない難聴の方を対象に、コミュニケーションの支援や福祉の増進を図るため、補聴器の購入費の一部を助成しています。令和2年度からは助成上限額を25,000円から50,000円に拡充し、区民のより一層の経済的負担の軽減を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
障害福祉サービス及び医療との連携の推進(※)				
障害者・障害福祉計画の改定	新規	7,800	0	7,800
障害者福祉センターの運営/障害児の通所支援等の推進				
障害者福祉センターえみふる管理運営	独自	289,037	313,085	△ 24,048
障害者施設の整備(※)				
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設整備の推進(再掲)	新規	22,400	0	22,400
(仮称) 神田錦町三丁目福祉施設の整備(再掲)		115,700	8,493	107,207

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
その他				
社会福祉協議会支援（再掲）		210,599	194,632	15,967
福祉タクシー券支給	拡充	32,505	29,861	2,644
自動車燃料費助成	拡充	1,634	1,704	△ 70
難聴者補聴器購入費助成	拡充	1,137	637	500

(※) 「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

■ 福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します

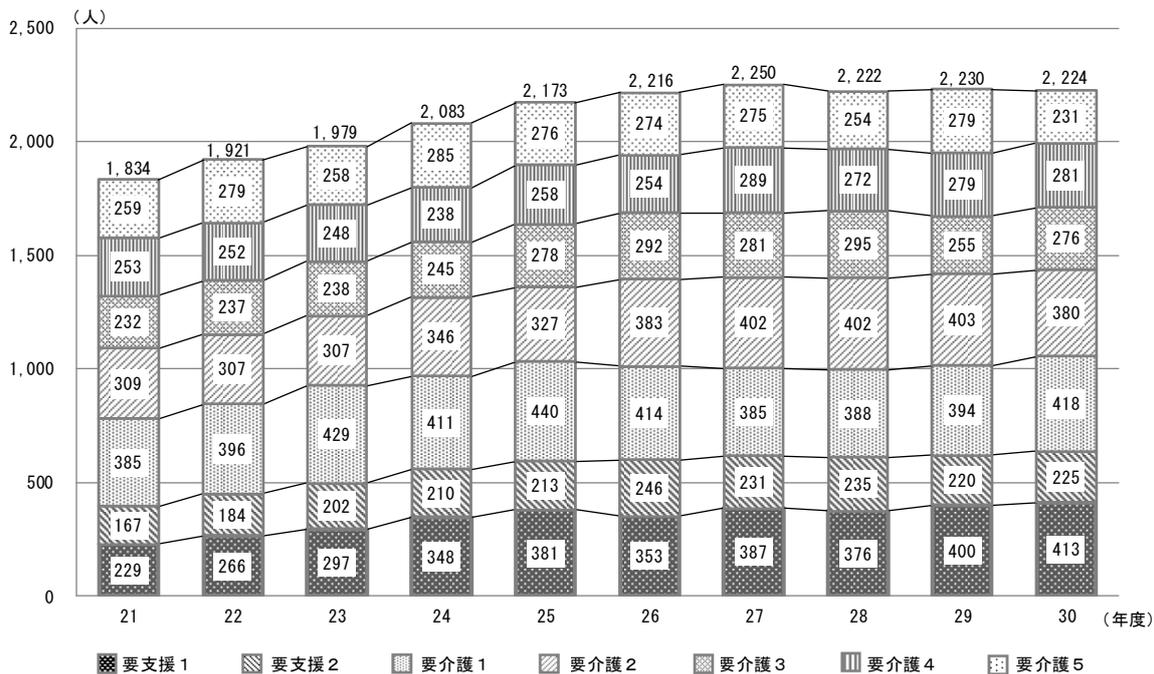
生活困窮者など困難な課題を持つ人が、住み慣れた地域で自立した安定的な生活を送れるよう、効果的な支援を行います。

- 生活困窮者の一層の自立の促進を図るため、生活困窮者に対する包括的な相談・支援体制を強化します。また、子どもの学習・生活支援事業では、支援の対象学年を高校3年生まで拡大します。

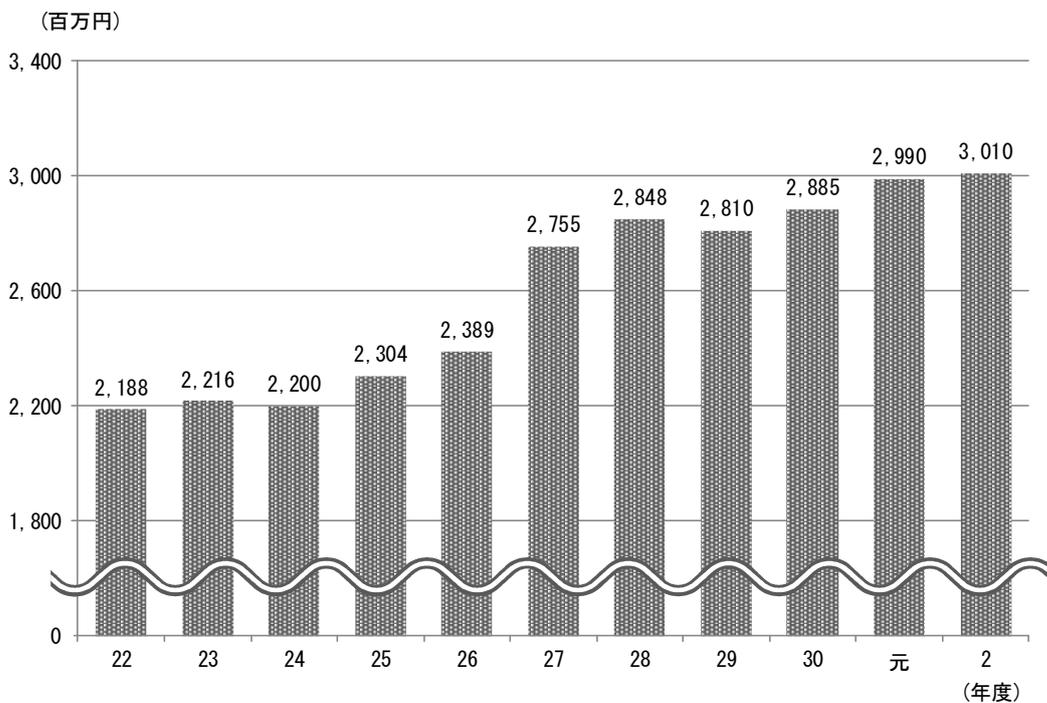
(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
隙間のない相談支援体制の構築／対象者の状況に応じた支援				
生活困窮者自立支援（自立相談支援）	拡充	33,660	7,181	26,479
その他				
社会福祉協議会支援（再掲）		210,599	194,632	15,967

● 要介護認定者の推移（各年度末時点）

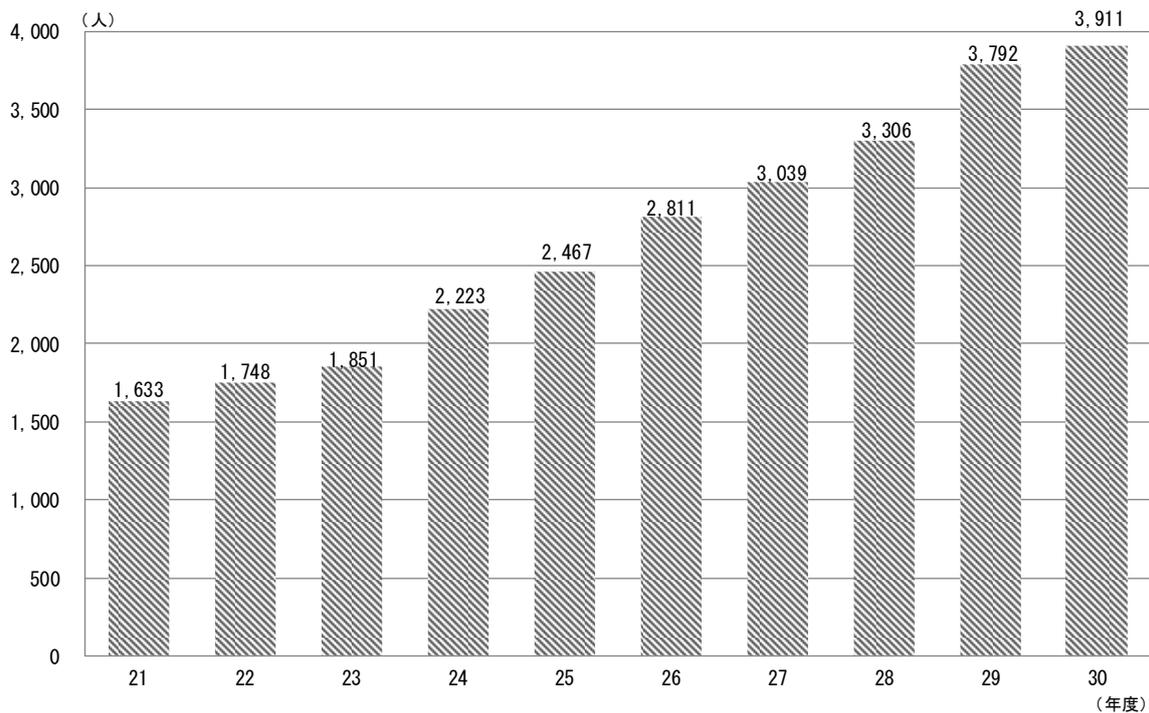


● 高齢者のための福祉サービス予算額の推移

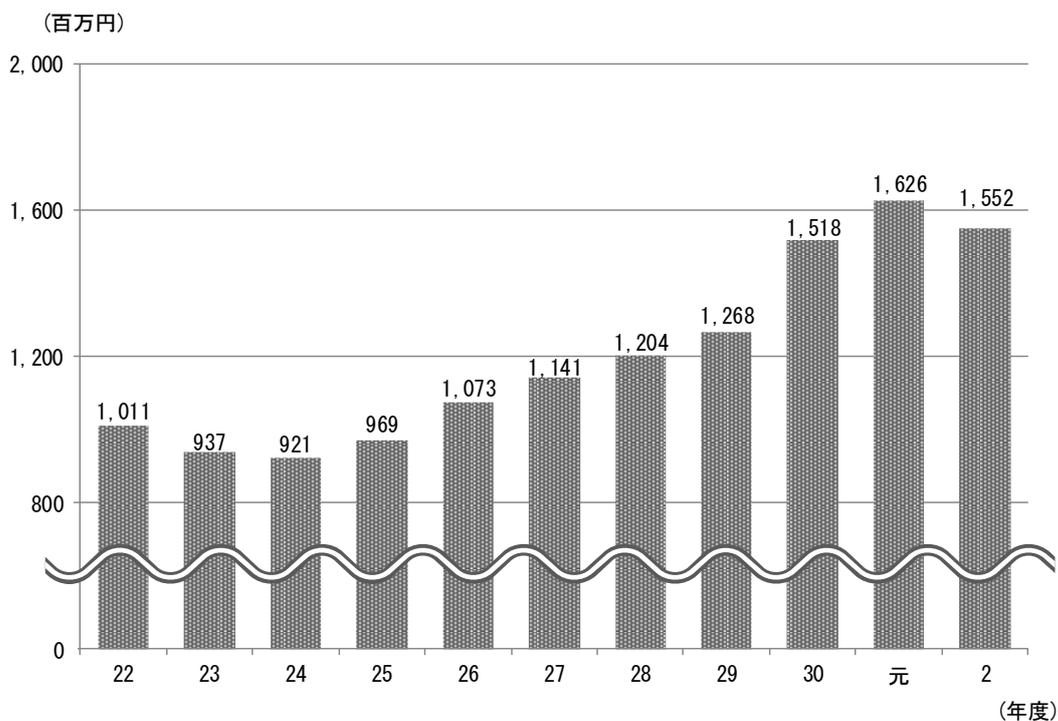


※予算額：高齢者福祉費と他会計繰出金（国民健康保険事業会計を除く。）を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

● 障害福祉サービスの延べ利用者数の推移（各年度末時点）



● 障害者のための福祉サービス予算額の推移



※予算額：障害者福祉費を集計しており、職員給与費と施設整備費は含まれていません。

特別会計

■ 国民健康保険事業会計

国保制度改革により、平成 30 年度からの保険料の算定は、都が標準的な保険料率を提示し、それを参考に区市町村が決定することとなりました。

本区は今年度についても特別区の統一保険料方式ではなく、都が示した標準保険料率を参考に独自の保険料率を決定しました。

制度改革に伴う激変緩和策や保険料の賦課上限額の引き上げを反映させるとともに、区は昨年度並みの法定外繰入金を投入しました。その結果、保険料率を据え置き、国保加入世帯の約9割を占める世帯で、昨年度と同額となることを実現しました。

■ 保険料率表

区分		令和2年度	令和元年度	増減
医療分	均等割	37,300円	37,300円	—
	所得割	7.14%	7.14%	—
	上限額	63万円	61万円	2万円増
後期 高齢者 支援金分	均等割	11,000円	11,000円	—
	所得割	1.93%	1.93%	—
	上限額	19万円	19万円	—
計	均等割	48,300円	48,300円	—
	所得割	9.07%	9.07%	—
	上限額	82万円	80万円	2万円増
介護 納付金分	均等割	14,200円	14,200円	—
	所得割	0.97%	0.97%	—
	上限額	17万円	16万円	1万円増
一人あたり 保険料額	介護分なし	153,846円	152,375円	1,471円増
	介護分あり	184,074円	182,128円	1,946円増

※介護納付金分は、介護保険第2号被保険者（40歳以上65歳未満）に賦課されます。

■ 介護保険特別会計

介護保険制度では、保険事業の安定的・持続的運営のために3年に1度、事業計画を策定することとなっています。2025年に団塊世代が75歳以上（後期高齢者）に、2040年に団塊ジュニア世代が65歳以上（高齢者）となることから、認知症高齢者やひとり暮らし高齢者の増加に伴う様々な課題を見据え、地域包括ケアシステムをこれまで以上に機能させる必要があります。

高齢者が住み慣れた地域で、安心して自分らしい生活を営むことができるよう、令和2年度に高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画（令和3年度～5年度）の策定を行います。

※令和2年度の介護保険料の改定はありません。

■ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療保険料は2年ごとに改定され、令和2・3年度は新しい保険料率に変わります。保険料の急激な負担増を緩和するため、都内62区市町村では、本来保険料で賄うべき葬祭費等の財源について、引き続き特別対策として令和2・3年度の2年間で217億円を負担します。

さらに、広域連合の平成30年度・令和元年度の財政収支に係る剰余金も充当することにより、保険料の増加を抑制しています。

■ 保険料率

区分	令和2・3年度	平成30・令和元年度	増減
均等割	44,100円	43,300円	800円増
所得割	8.72%	8.80%	0.08ポイント減
上限額	64万円	62万円	2万円増

地域振興に関する取組み 予算総額 8,102 百万円 (令和元年度 6,013 百万円)

区民の生活が、より安全かつ快適で豊かなものになるように努めます。また、区内に一層の活気と賑わいを創出し、区の魅力や活力を高めていきます。さらには、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、外国人を含むすべての来街者にとって、居心地の良い、おもてなしのまちをめざします。

■ 清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます

区民や事業者、千代田区を訪れる人など、すべての人々の主体的な取組みを通じて、清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます。

- 夜間帯の路上喫煙や客引き行為等に対する注意・指導の対応件数が増加しているため、現行の青色回転灯パトロール車のパトロール体制の効率化を図り、特に事件・事故等の発生頻度が高い夜間帯の巡回体制を強化し、客引き行為等への対応を重点的に行います。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の競技会場周辺を中心としたラストマイルの喫煙対策を推進するため、区内10か所の公園等を生活環境条例の路上禁止地区として新たに指定します。禁煙の対象となる区立公園等に近隣喫煙所への案内員を配置するなどにより周知を図っていきます。また、屋内喫煙所設置助成や既設民間喫煙所の開放促進など（令和元年度末53か所見込）について、引き続き、喫煙所確保に多角的に取り組めます。
- 安全で快適なまちの実現に向けて、引き続き、地域が行う活動を支援するため、民間警備員による巡回パトロールを実施するとともに、客引き行為等防止重点地区の拡大について地域と協議を行っていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
生活環境改善推進				
生活環境改善推進	拡充 独自	41,532	45,735	△ 4,203
ちよだ安全・安心ネットワークの推進	拡充	148,424	79,717	68,707

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
公共の場所（道路、公園等）における喫煙対策				
喫煙所設置対策	拡充 独自	351,058	304,228	46,830
客引き防止対策の推進				
客引き行為等の防止対策	独自	52,294	44,867	7,427

■ 千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます

■ 中小企業や商工業の活性化を支援します

区民と共に区の魅力を高めることにより、区民が誇りを持ち、多くの人々が訪れる、賑わいのあるまちにしていきます。また、中小企業の経営安定化への支援や、起業支援を行うとともに、商工業の活性化に向けた自主的な取組みを支援します。

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、国内外から訪れる観光客に向けて効果的に情報を発信していくため、千代田区観光協会が実施する地域イベントのプレスリリース、ガイドブック等のラインアップ拡充、インバウンド向けツアーの企画運営や日比谷公園丸の内音頭大盆踊り大会の協賛などの取組みを支援します。
- 「千代田区における地方との連携のあり方」に基づき、区全体で連携事業を推進します。また、「ちよだいちば」で引き続き区民などに新鮮な地方特産品の提供を行うとともに、飲食店に対する地方特産品の販路拡大にも取り組みます。
- 「起業しやすいまち」、「新たなビジネス展開のしやすいまち」をめざし、区内での創業希望者や区内中小企業者等が「クラウドファンディング」を活用する場合にかかる手数料について、東京都が補助した額の半額をさらに区が補助します。
- 区内の中小企業者等や商工業の活性化を支援する商工振興基本計画の計画期間が令和3年度で終了するため、2か年にわたって計画の改定を行います。令和2年度は、これまでの計画の成果や課題の抽出及び区内商工業の現状把握など、計画改定に向けた基礎調査を実施します。
- 区内商工業の活性化や賑わいの創出を図るため、引き続き、区内商工関係団体等が主体的に行うイベント等に支援するとともに、使い捨てプラスチックの使用量削

減など、区が直面する様々な政策課題について、商店街の強みを活かしながら協働してその解決をめざします。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
シティプロモーションの推進				
観光協会運営補助等	拡充	284,417	265,861	18,556
地方との連携				
地方との連携支援	独自	17,204	16,202	1,002
文化資源の見える化の展開				
文化財保護事業運営	拡充	134,380	73,932	60,448
水辺の活用				
(仮称)外神田一丁目公共施設整備		2,563,577	559,900	2,003,677
起業支援の充実／中小ビルの活性化／商工融資・経営相談				
中小企業等経営支援	拡充	7,716	6,211	1,505
商工関係団体への支援				
商工関係団体等支援事業	独自	96,883	95,768	1,115
その他				
商工振興基本計画の改定	新規	5,500	0	5,500

- 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます
- 豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます

誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。また、本区の持つ豊かな歴史や文化資源、文化・芸術活動

について、誰もが気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます。

- 令和元年度に引き続き、新スポーツセンターの建設地や規模などを含めて検討を行い、新スポーツセンター基本構想の策定をめざします。
- 区民をはじめ、区を訪れる人が区の歴史や文化に触れる機会として、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会期間中に日比谷図書文化館において「(仮称) 浮世絵で見る江戸文化」を開催します。また、国指定史跡常盤橋門跡常磐橋の文化財修理工事報告書を作成するとともに、工事により出土した文化財を常盤橋公園に展示します。加えて、文化財の活用に向けて適切に文化財を保存・管理していくため、文化財台帳のデータベース化を進めるとともに、区内に所在する文化財の総合調査に向けた検討を行います。
- 今まで日本国内からの応募作品による公募展として開催してきた「ポコラート全国公募展」を、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、文化の祭典として広く国外からの作品も集結し、国内外の文化交流を促す「障害者アート（ポコラート）世界展 2020」へ発展させ、開催します。
- 令和元年度に引き続き、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成に向けた取組みを行うとともに、大会期間中は、聖火リレー関連イベントやコミュニティライブサイトなどを実施し、区民だけでなく区を訪れる多くの観戦客や観光客などにも楽しんでもらえる取組みを進めていきます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
新スポーツセンターの整備					
新スポーツセンター基本構想の策定			5,280	5,280	0
文化資源の見える化の展開／文化財の活用に向けた適切な保存・管理（※）					
文化財保護事業運営（再掲）		拡充	134,380	73,932	60,448
文化芸術の秋フェスティバルや文化芸術鑑賞事業の展開					
障害者アート世界展2020		拡充 独自	87,000	13,000	74,000
その他					
東京2020大会関連事業		拡充	113,262	59,463	53,799

(※) 「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

■ 地域力の向上を支援します

地域の絆を大切にし、いざという時に助けあえる環境を整備するため、町会、個々の在住区民、昼間区民など多様な主体の活動や連携を支援します。

- 万世橋出張所・区民館、学童クラブのほか、福祉や観光などの用途を含む公共施設の建設工事を引き続き行い、令和3年1月頃の開設をめざします。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取り組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
出張所・区民館の整備				
(仮称)外神田一丁目公共施設整備(再掲)		2,563,577	559,900	2,003,677

■ 男女共同参画社会の実現をめざします

■ 国際交流・協力や平和活動を推進します

性別による不平等がなく、誰もが自分らしい生き方を選ぶことができ、その選択が認められて参画できる社会の実現をめざします。また、区民や地域の主体的・自主的な国際交流・協力や平和活動を推進するとともに、外国人住民も暮らしやすい共生の地域づくりを進めます。

- 仕事と子育て・介護を両立しやすい職場づくりに取り組んでいる区内中小企業を支援するため、新たな奨励金の導入や交付要件など支援制度の見直しを行い、企業のさらなる制度利用の促進を図り、ワーク・ライフ・バランスの実現と女性の活躍を推進します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、区内の複数の大使館等と合同で、国際交流イベントを実施し、互いの文化や歴史等の理解を深め、誰もが安心して生活できる環境づくりを進めます。
- 男女共同参画推進施策を総合的かつ効果的に推進するため、令和2年度から令和3年度にかけて、「(仮称)第6次千代田区男女共同参画推進計画」の策定を行います。令和2年度は策定に向けて、区民及び区内事業所に、男女共同参画等に関する意識・実態調査を実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
仕事と子育ての両立への支援				
中小企業従業員仕事と家庭の両立支援	独自	5,190	6,750	△ 1,560
交流機会の創出・提供／国際交流・協力ボランティアの活用				
国際交流・協力の推進	拡充 独自	5,073	2,490	2,583
その他				
男女平等推進行動計画の推進	拡充	5,341	883	4,458

環境まちづくりに関する取組み 予算総額 10,223百万円 (令和元年度 11,100百万円)

地震による建物の倒壊等から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路等の閉塞を防ぐため、建物の耐震化を促進することや、身近な緑や親水性の高い水辺空間の創出、建築物の省エネ化や区有施設のCO₂削減などの地球温暖化対策に取り組みます。さらに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う来街者へのおもてなしと安全性の向上に向けたごみ・資源の特別収集に取り組み、「住みやすさ」や「居心地の良さ」の向上を実感できるよう、環境に配慮した安全で活力あるまちづくりを地域と共に推進していきます。

■ 地域ごとのまちづくりのルールをつくります

■ 地域ごとの特性を踏まえた景観を守り育て、千代田区の魅力を高めます

地域の合意に基づいて、「地区計画制度」など都市計画の諸制度を活用し、住宅とオフィス・店舗等が調和した街並みや、街区内に緑、空間を配置するなど、良好な市街地の形成を推進します。また、地域の個性や特性を踏まえ、千代田区らしい風格、気品、情緒などが感じられる景観を守り育てていきます。

- 秋葉原地域では、外神田一丁目地区のまちづくりの具体化に向けた検討を行います。飯田橋・富士見地域では、JR飯田橋駅の安全対策の整備、JR飯田橋駅東口周辺で検討されている開発計画の具現化や大神宮通り沿道のまちなみガイドラインの検討に取り組みます。神田駿河台地域では、JR御茶ノ水駅の聖橋口広場整備やバリアフリー対策などの駅改良や駅周辺の道路整備を進めます。神田駅周辺では、神田駅北口周辺の電線類地中化や道路整備の推進、神田警察通り沿道では、にぎわい形成を実現していくためのまちづくりの検討を行います。
- 景観法に基づく景観行政団体として、景観まちづくり計画を運用するうえで、屋外広告物に対して適切な景観誘導を図るために「(仮称)屋外広告物景観ガイドライン」の策定を進めます。
- 都市計画マスタープランの改定に向けて、都市計画法に基づき、区民や様々な関係者のご意見も伺いながら取り組みます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
地区計画制度の活用					
地区の計画等の検討			16,289	24,355	△ 8,066
地域別まちづくりの推進／公共空間の活用検討					
地域別まちづくりの推進		独自	34,853	356,767	△ 321,914
景観まちづくり計画の策定と運用（※）					
景観計画の策定等			7,245	7,668	△ 423
その他					
都市計画マスタープランの改定			16,521	13,327	3,194

（※）「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

■ 多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます

様々なライフステージやライフスタイルに対応した住まい・住環境づくりを進め、居住の場としての魅力の向上に取り組みます。

- 区内に居住する親元近居のために住替えを行う子育て世帯・新婚世帯や、子どもの誕生・成長に伴い区内転居する子育て世帯を対象に、家賃等の一部助成を実施し、民間住宅ストックを活用しながら次世代の育成を担う子育て世帯等の居住を支援します。
- 区営四番町住宅（保育園・児童館・区民集会室併設）及び区営四番町アパート（図書館併設）の建替えの際の仮移転先としての（仮称）区立麴町仮住宅について、引き続き本体工事を進め、8月末の竣工を予定し、10月をめぐりに入居者の仮移転を行います。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
様々な分野・主体との連携による住まい・住環境づくり				
次世代育成住宅助成	独自	150,528	169,212	△ 18,684
まちづくりと連動した住まい・住環境づくり				
(仮称) 区立麴町仮住宅の整備		1,753,517	335,430	1,418,087

■ だれもが移動しやすい環境の整備を進めます

■ 清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます

歩行者や自転車、車など、誰もが安全で、安心して、快適に移動しやすい地域交通環境を整備します。また、区民や事業者、千代田区を訪れる人など、すべての人々の主体的な取組みを通じて、清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます。

- コミュニティサイクル事業について、令和2年度から本格実施に移行し、安定的な事業運営を継続していきます。また、外国人等の来街者が気軽に利用できるサービスの提供や、利用促進も進めます。さらに、自転車の適正配置やバッテリー切れの解消に引き続き努めます。
- 駅周辺の放置自転車対策として、東京駅周辺地区に「自転車等放置禁止区域」を指定します。さらに、有楽町駅周辺地区に一時利用者向けのコインパーキングを新設するなど、鉄道事業者・集客施設事業者・地域団体・道路管理者や警察などと連携した取組みを進めます。
- 区が管理する橋梁について、平成27年度に実施した橋梁点検調査の結果を踏まえ、お茶の水橋の工事を引き続き実施するとともに、雉子橋の設計、後楽橋の工事を進めます。また、5年に1回の橋梁点検調査も実施します。
- 自転車道の整備（神田警察通りⅡ期）について、沿道協議会や地域などの意見を踏まえながら設計及び工事を実施します。
- 歩道の設置・拡幅整備（明大通りⅡ期）について、沿道協議会や地域などの意見を踏まえながら工事に着手します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人を含む来街者に対するおもてなしの向上を図るため、誰もが安全・安心・快適に利用できるユニ

バーサルデザインを取り入れた公衆・公園トイレの改修を引き続き実施します。

- これまで幅員11m以上の区道についてレーダー探査による路面下空洞調査を実施してきましたが、調査対象範囲を拡げ、幅員6m以上11m未満の区道を対象に実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
自転車利用の推進				
コミュニティサイクル事業		180	10,930	△ 10,750
放置自転車対策		150,535	151,162	△ 627
自転車道の整備		234,000	65,000	169,000
バリアフリー歩行空間の整備				
電線類地中化の推進		501,130	788,020	△ 286,890
歩道の設置・拡幅整備		145,200	202,200	△ 57,000
その他				
路面下空洞調査	新規	22,000	0	22,000
公衆トイレのリフレッシュ	独自	343,000	425,000	△ 82,000
橋梁の整備		928,000	1,144,302	△ 216,302

■ 建物の耐震化を促進します

地震による建物の倒壊等の被害から、区民の生命・財産を保護するとともに、避難経路等の閉塞を防ぐため、建物の耐震化を促進します。

- 一般道路沿道のマンションの耐震改修を促進するため、助成制度の拡充を図ります。また、土砂災害特別警戒区域内の既存建物の安全対策を推進するため、個人・中小企業が所有する建物で、塀（防護壁）の設置、外壁の改修及び改築などの工事

について助成を行います。

- 耐震改修促進計画の改定に向けて、耐震化促進の現況や課題を把握し、その解決に向けた施策を検討します。
- 区内の屋外広告物に対する現状調査を引き続き実施し、危険な屋外広告物の改善を図ります。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
耐震化の啓発／建築物の所有者に対する指導・助言／耐震改修等に対する支援・助成					
建築物の耐震化等促進事業		拡充	462,178	621,249	△ 159,071
耐震改修促進計画の改定		新規	6,000	0	6,000
建築物の所有者に対する指導・助言					
屋外広告物及び看板等の安全推進			39,996	16,885	23,111

■ 身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします

■ 区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます

区内に残された自然環境を次世代に引き継ぐとともに、身近な緑や親水性の高い水辺空間を創出します。また、誰もが生涯を通じて多様な学習・スポーツ活動を行うことができるよう、仕組みづくりと人材育成を進めます。

- 外濠公園総合グラウンドについて、文化庁や財務省などの関係機関や利用団体との協議・調整を継続するとともに、整備に向けた手法の調査・検討を行います。
- 東郷元帥記念公園について、工事施工中に鉛が検出された土壌の処理を行うとともに、公園下段部広場の工事を近隣住民や関係機関との合意形成を図りながら進めます。
- 錦華公園について、公園に隣接するお茶の水小学校・幼稚園の建替えと連携し、利用調査、地域や学校へのアンケートなど、広く意見を聞きながら近隣住民や関係機関との合意形成を図りつつ整備内容の検討を進めます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
地域と連携・協働した身近な緑の保全と創出					
ヒートアイランド対策の推進		拡充	29,246	118,742	△ 89,496
親水性の高い水辺空間の創出					
区の花さくらの再生		独自	13,217	8,629	4,588
その他					
外濠公園総合グラウンド整備			3,630	57,000	△ 53,370
東郷元帥記念公園の整備			486,000	432,000	54,000
錦華公園の整備			24,000	16,060	7,940

■ 地球に優しい環境づくりを進めます

かけがえのない地球環境を次世代に引き継ぐため、政治・経済の中心地である千代田区の地域特性を踏まえ、事業継続計画（BCP）の観点を含めた温暖化対策に取り組みます。

- 地球温暖化対策条例の目標年次を控え、引き続きこれまでの区の実績等を検証し、今後の方向性を検討します。また、気候変動の影響による被害を回避・軽減するための対策（適応策）を推進するため、地域気候変動適応計画の策定に向けた検討を行います。
- 「千代田区地球温暖化対策地域推進計画 2015」及び「地球温暖化対策第4次実行計画（事務事業編）」に基づき、建築物の省エネ化の推進（マンションへの再生可能エネルギーの普及促進を図るため、太陽光発電システムなどを設置する費用の助成拡大）や、区の地域特性を活かした地球温暖化対策を着実に推進します。
- 「地球温暖化対策第4次実行計画（事務事業編）」に基づき、区有施設のCO₂削減に向け、設備機器のエコチューニング（運用改善）へ向けた調査を行います。
- ヒートアイランド現象の緩和を図るため、舗装や建物の被覆対策（熱交換塗料や

遮熱性塗料による塗装費用の助成を拡充)、人工排熱対策、屋上や敷地内の緑化を推進するとともに、クールスポットの創出のため、公園に設置していたドライ型ミストを千鳥ヶ淵緑道にも設置することやイベントなどで活用できる簡易なドライ型ミストのレンタル費用の助成を行います。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
消費するエネルギーを減らす					
地球温暖化対策		拡充	101,482	110,736	△ 9,254
ヒートアイランド対策の推進					
ヒートアイランド対策の推進（再掲）		拡充	29,246	118,742	△ 89,496

■ 資源循環型都市をめざします

リデュース・リユース・リサイクル（3R）を促進し、区民・事業者・行政の緊密な連携のもと、資源循環型都市千代田のさらなる構築に取り組みます。

- 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴い、ごみ・資源の特別収集として、競技会場周辺やJR駅周辺などを特別収集地域とし、午前10時までに集積所のごみ・資源の収集を行い、来街者へのおもてなしと安全性の向上を図ります。また、パラリンピック陸上競技（マラソン）観戦のため、開催日前日にコース付近の集積所の点検を実施します。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
排出指導					
事業系ごみ等対策			1,740	2,326	△ 586
資源回収事業					
資源回収事業		拡充	581,971	554,253	27,718
その他					
ごみの収集・運搬		拡充	384,083	379,203	4,880

政策経営に関する取組み 予算総額 6,064 百万円 (令和元年度 4,568 百万円)

首都直下地震や集中豪雨などの自然災害、テロ等の発生に備えるため、区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

また、多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源や職員を最大限に活用していきます。

■ みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます

区民、事業者、来街者等、地域を構成するすべての人々の助けあいによる減災のまちづくりを進めるとともに、危機管理即応態勢を構築していきます。

- 浸水想定区域内の地下街等や要配慮者利用施設、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設を地域防災計画で指定するにあたり、区域内の該当施設を調査し、施設利用者の水害・土砂災害時における円滑かつ迅速な避難の確保等につなげます。
- 近年の大規模災害の教訓を踏まえ、災害情報伝達手段の多様化を図るため、避難に時間を要する避難行動要支援者に防災ラジオ（うち聴覚障害者には文字情報を受信できる防災ラジオ）を配付するとともに、大規模マンションや避難行動要支援者の見守り活動を行っている民生委員・児童委員に戸別受信機を配備・配付することで、迅速な避難行動を支援します。また、現在、区ホームページで提供している外国人への災害情報伝達について多様化を図るため、屋外に設置している文字表示盤に英文表記をするための改修を行います。
- 大規模災害による停電に備え、災害時の情報収集手段であるスマートフォンの充電やテレビの電源、避難者の医療機器の充電に必要な電力確保を図るため、各避難所の備蓄倉庫に大容量蓄電池を配備します。また、避難所において3日間の避難生活に必要な最低限の電力を確保できるよう、避難所となる施設の電気設備の改修に向けた事前調査を行います。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み	新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業				
防災・減災対策の推進／災害に強いまちづくり				
水害・土砂災害対策	新規	8,500	0	8,500
防災・減災対策の推進				
情報連絡網の整備	拡充	139,598	49,866	89,732
避難所等の停電対策	新規	44,573	0	44,573

■ 質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します

多様なニーズを持つ区民に対し、区民の目線に立った質の高い行政サービスを提供するため、限られた財源や職員を最大限に活用していきます。

- 区有施設が現在抱えている課題や、区民の将来的なニーズを見据えた事業展開のために必要となる施設需要、公有財産白書や公共施設等総合管理方針で示した課題を踏まえ、低未利用区有財産を含めた区有財産活用など、公共施設整備等の基本的な考え方を検討します。
- 現在利用されていない旧和泉町ポンプ所跡地を東京都から取得し、保育所整備に活用していきます。
- 我が国全体における労働力人口の減少を見据え、さらなる業務効率化を図るため、高い精度の議事録をリアルタイムで作成することができるA I 議事録支援システムや、保育所の入所選考を短時間で終わらせることができるA I 保育所入所選考システムを新たに導入し、導入により創出した時間を政策立案業務や保護者との相談時間などに充てることで、区民サービスの向上を図ります。
- 住民情報を扱う総合住民サービスシステムについて、業務効率化やさらなるセキュリティの向上を図るため、令和元年度までに策定した要件定義を踏まえ、令和4年度の新システム稼働に向けたシステムリプレイスに着手します。リプレイスにあたっては、個人番号を利用する個別システムを統合し、システム全体での情報連携を実現させることで、区民からの問合せや相談への迅速な対応をめざします。
- 区の内部事務を支える総合行政システムについて、業務効率化やさらなるセキュ

リティの向上を図るため、令和4年度の新システム稼働に向けたシステムリプレイスに着手します。リプレイスにあたっては、社会情勢の変化も踏まえ、システム間の業務連携の強化や業務フローの見直しも含めたシステム全体を見直すことで内部事務の効率化を行い、区民サービスの向上につなげます。

- 債権管理の適正化を図るため、令和元年度に整理する債権管理の基本的な考え方に基づき、債権管理体制を強化し、区民負担の公平性・公正性の確保につなげます。

(単位：千円)

「ちよだみらいプロジェクト」に掲げた10年後の姿を実現するための主な取組み		新規 拡充 独自	令和2年度 予算額	令和元年度 予算額	増(△)減額
主な事業					
区有地等の効果的な活用 (※)					
公共施設整備等の方針検討		拡充	5,900	900	5,000
旧和泉町ポンプ所跡地の購入		新規	761,000	0	761,000
ICTの活用等による事務の効率化 (※)					
RPA・AIの導入		拡充	83,425	35,970	47,455
総合住民サービスシステムのリプレイス		拡充	639,504	360	639,144
総合行政システムのリプレイス		拡充	62,209	22,000	40,209
その他					
債権管理の適正化		新規	2,704	0	2,704

(※) 「ちよだみらいプロジェクト」の中間年における見直しにより追加等を行った取組み

6

今後の財政見通し

以下の前提条件のもと、今後の財政見通しを作成しました。

全般的事項

- 1 一般会計で行う全事業を対象に、財源とあわせて推計しました。
- 2 経常歳出等のシーリングは、行っていません。
- 3 人口の増加による歳入・歳出への影響を見込んでいます。
- 4 令和2年度予算の数値を基礎として、下記の要因を見込んでいます。

歳入

1 特別区税

特別区民税、特別区たばこ税、軽自動車税、入湯税の合計です。特別区民税は、人口の増に伴う納税義務者数の増を見込んでいます。特別区たばこ税は、税率の改定による影響やたばこ売渡本数の減を見込んでいます。

2 地方消費税交付金

暦日要因による影響等を見込んでいます。

3 基金繰入金

様々な目的のために区で設置している各種基金の取崩しです。

歳出の増減に伴い、財源として繰り入れる基金繰入の増減等を見込んでいます。

4 その他の一般財源

基金利子については、その利率を固定（0.05%）で見込んでいます。

5 その他の特定財源

道路占用料の改定による増や、歳出の増減に伴う国・都支出金の増減などを見込んでいます。

歳出

1 義務的経費

法令等で支出が義務付けられており、任意に削減できない経費で、人件費、扶助費（生活保護費など、社会保障制度の一環として、各種法令等に基づき行う給付に要する経費）、公債費（区の借金の返済に要する経費）の合計です。

人件費は、定年退職者数の増減による退職手当の増減等を見込んでいます。扶助費は、人口の増による給付の増を見込んでいます。公債費は、既発債の償還を見込んでいます。

2 投資的経費

学校、区民施設や道路・橋梁の整備等に係る経費です。施設整備の進捗や計画的な施設保全経費等を見込んでいます。

3 一般的な事業費

上記1、2以外の全ての歳出で、施設の運営に係る委託料、民間の保育施設や高齢者施設などへの補助、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険の区負担分等の合計です。

区債残高（年度末）

区債の新規発行をせずに既発債を償還した結果、各年度末に見込まれる区債残高です。

基金残高（年度末）

各年度の基金繰入や運用利子積立の結果、各年度末に見込まれる基金残高です。

令和2年度～令和11年度の財政見通し（一般会計ベース）

（単位：百万円）

区 分	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7～11年度	合計
歳入（A）	64,626	61,768	62,335	64,638	66,088	294,891	614,346
一般財源	37,269	37,123	37,366	37,648	37,056	194,562	381,024
特別区税	21,050	21,640	21,897	22,200	22,503	116,389	225,679
地方消費税交付金	10,700	10,300	10,300	10,300	9,400	52,408	103,408
財政調整交付金	4,382	4,045	4,027	4,006	4,006	20,030	40,496
その他の一般財源	1,137	1,138	1,142	1,142	1,147	5,735	11,441
特定財源	27,357	24,645	24,969	26,990	29,032	100,329	233,322
国・都支出金	8,071	7,844	7,890	7,310	7,408	36,359	74,882
基金繰入金	10,505	7,818	6,704	9,356	11,273	13,446	59,102
財政調整基金	1,073	0	0	0	0	5,133	6,206
その他特定目的基金	9,432	7,818	6,704	9,356	11,273	8,313	52,896
その他の特定財源	8,781	8,983	10,375	10,324	10,351	50,524	99,338
歳出（B）	64,626	61,768	62,335	64,638	66,088	294,891	614,346
義務的経費	19,909	19,967	20,842	21,058	21,530	113,126	216,432
人件費	13,044	12,639	13,242	13,308	13,615	68,686	134,534
職員給与費	9,549	9,669	10,137	10,365	10,654	53,962	104,336
退職手当	1,180	655	790	628	646	3,149	7,048
その他の人件費	2,315	2,315	2,315	2,315	2,315	11,575	23,150
扶助費	6,795	7,274	7,585	7,750	7,915	44,440	81,759
公債費	70	54	15	0	0	0	139
投資的経費	10,806	7,930	8,493	12,107	13,284	27,580	80,200
一般的な事業費	33,910	33,871	33,000	31,473	31,274	154,185	317,713
差引収支（A）-（B）	0	0	0	0	0	0	0
区債残高（年度末）	68	15	0	0	0	0	
基金残高（年度末）	100,075	92,311	85,656	76,346	65,116	51,825	
財政調整基金	45,802	45,825	45,848	45,871	45,894	40,876	
その他特定目的基金	54,273	46,486	39,808	30,475	19,222	10,949	
基金残高（対2年度末増減）	0	△ 7,764	△ 14,419	△ 23,729	△ 34,959	△ 48,250	

POINT 今後も健全な財政運営をめざします

- 区の平成12年度決算における経常収支比率は88.5%、人件費比率は34.7%でした。そこで区では、平成13年度末に「千代田区行財政改革に関する基本条例」を制定し、経常収支比率85%程度、人件費比率25%程度の財政指標を定め、行財政効率化を推進してきました。その結果、平成30年度決算における経常収支比率は73.7%、人件費比率は19.3%となっています。さらに、道路占用料の改定などの歳入確保やまちづくりに伴う地域環境整備による歳出削減などにも取り組み、持続可能な財政運営を図ってきました。
- 今回の財政見通しでは、基金は、今後10年間で子育てや高齢者施策、施設整備等に591億円を活用し、令和11年度末残高は518億円となる見込みです。
- また、区では平成12年度以降、新たに区債（借金）を発行しておらず、令和4年度に償還完了（完済）する予定となっており、将来世代に負担を残さない財政運営を行っています。
- 引き続き、歳入確保や事務事業の見直し・再構築を行うとともに、公共用地の取得など様々な行政需要に対し、基金を有効に活用しながら、「千代田区行財政改革に関する基本条例」で定めた財政指標を堅持し、健全な財政運営を行っていきます。

令和2年度～令和11年度の財政見通しにおける基金充当一覧

(単位：百万円)

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7～11年度	合計
基金繰入金合計	10,505	7,818	6,704	9,356	11,273	13,446	59,102
財政調整基金繰入金	1,073	0	0	0	0	5,133	6,206
本庁舎整備相当分等	1,073	0	0	0	0	5,133	6,206
コミュニティ活性化基金繰入金	81	81	81	81	81	405	810
商工関係団体等支援事業	65	65	65	65	65	325	650
地域コミュニティ活性化事業	16	16	16	16	16	80	160
社会資本等整備基金繰入金	7,020	4,966	4,360	7,360	6,423	1,987	32,116
区有施設整備・都市基盤整備等	7,020	4,966	4,360	7,360	6,423	1,987	32,116
地域福祉支援基金繰入金	6	6	6	6	6	30	60
地域福祉活動支援事業	6	6	6	6	6	30	60
災害対策基金繰入金	135	125	73	113	115	606	1,167
備蓄物資・機器等の整備	135	125	73	113	115	606	1,167
高齢者福祉基金繰入金	1,118	160	162	163	165	505	2,273
施設整備補助	961	0	0	0	0	0	961
運営費補助等	157	160	162	163	165	505	1,312
環境対策基金繰入金	261	261	261	261	261	783	2,088
各種助成制度等	261	261	261	261	261	783	2,088
子ども・子育て支援事業基金繰入金	810	496	494	332	338	1,049	3,519
施設整備補助	497	177	168	0	0	0	842
運営費補助等	313	319	326	332	338	1,049	2,677
新規・拡充事業相当分	0	1,723	1,267	1,040	3,884	2,948	10,862
高齢者福祉基金、環境対策基金、子ども・子育て支援事業基金	0	1,723	1,267	1,040	3,884	2,948	10,862

各事業の見通し

事業の継続性を図り、財政の「見える化」をさらに進めるため、新規・拡充・主要事業の各事業別の見通しを作成しました。

■子ども部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
保護者の多様なライフスタイルに応じた子育てができる環境を整えます				
私立保育所等整備補助（私立保育所）	1,104	937	888	令和3年度に3園、令和4年度に2園の開設を見込んでいます
私立保育所等整備補助（私立学童クラブ）	133	—	—	学童クラブの需要に対応するよう、状況に応じて整備を進めます
保育所用地の整備	115	—	—	保育需要に対応するよう、状況に応じて整備を進めます
私立保育所等運営補助	3,573	4,369	4,812	私立認可保育所数の増加を見込んでいます
地域型保育事業運営補助	567	567	567	引き続き、地域型保育事業への運営補助を実施します
認証保育所等運営補助	1,317	1,317	1,317	引き続き、認証保育所等への運営補助を実施します
病児保育室事業	42	30	30	令和2年度は運営経費に加え整備費を含んでいます
いずみこどもプラザ運営補助	103	103	103	引き続き、いずみこどもプラザへの運営補助を実施します
富士見わんぱくひろば事業運営	125	125	125	引き続き、富士見わんぱくひろば事業を実施します
放課後子どもプラン	371	371	371	引き続き、放課後子どもプランの取組みを実施します
私立学童クラブ運営補助	562	665	665	私立学童クラブ数の増加を見込んでいます
保育ICT化の推進	28	29	29	令和2年6月以降の導入をめざし、令和3年度以降は保守経費を見込んでいます
（仮称）四番町公共施設整備	361	1,140	1,121	整備スケジュールに基づき工事を進めます（図書館・区営住宅等を含む）

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
安心して子育てができ、子どもたちがすくすくと育つ地域づくりを進めます				
次世代育成手当	112	117	121	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
児童手当	808	841	873	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
こども医療費助成	411	428	444	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
子ども発達センター	92	96	100	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
障害児ケアプラン	20	21	21	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
第2期障害児福祉計画の策定	2			令和2年度完了
他者を思いやり、人との関係をより良く築く力を共に育む教育を進めます				
子どもの権利擁護に関する調査検討	3	—	—	令和2年度の調査・検討結果を踏まえ、令和3年度以降子どもの健全な育成について取組みを進めます
個に応じた指導の充実	126	131	136	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
心の教育の推進	8	9	9	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
学校等対策支援	2	2	2	引き続き、学校等対策支援を実施します
グローバル社会で活躍する資質・能力を育て、主体的・協働的・創造的に生きる力を身に付ける質の高い教育を進めます				
国際教育の推進	48	50	52	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
特色ある教育活動	71	71	71	引き続き、特色ある教育活動を実施します
ICT教育の推進	284	330	284	令和3年度にシステムリプレイス経費を見込んでいます
児童・生徒が安全にのびのびと成長できる環境を整えます				
和泉小学校・いずみこども園等施設整備調査検討	7	—	—	令和2年度の調査・検討結果を踏まえ、令和3年度以降設計等を進めます
お茶の水小学校・幼稚園仮校舎運営	137	137	137	引き続き、本校舎移転までの仮校舎運営を実施します
お茶の水小学校・幼稚園の整備	1,113	2,055	2,129	整備スケジュールに基づき工事を進めます
子どもの遊び場確保の取組み	88	88	88	引き続き、子どもの遊び場確保の取組みを実施します

■保健福祉部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します				
予防接種	413	427	415	令和3年度まで風しん対策の重点実施を見込んでいます
熱中症予防対策	10	8	8	令和2年度は、東京2020大会対応を見込んでいます
ねずみ・衛生害虫駆除	3	3	3	引き続き、ねずみ・衛生害虫駆除を実施します
一人ひとりの健康づくりを支援します				
成人健診	76	75	77	システム改修の完了による減及び人口増による増を見込んでいます
長寿健診	23	23	24	老年人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
歯科口腔保健の推進	54	55	56	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
受動喫煙防止対策	27	27	27	引き続き、受動喫煙防止対策を実施します
特定健康診査・特定保健指導（国民健康保険事業会計）	35	36	37	人口増に伴う経費の増加を見込んでいます
安心して医療が受けられるしくみづくりと、医療と介護の連携の推進に努めます				
休日応急診療	57	51	51	令和2年度は、東京2020大会対応を見込んでいます
高齢者が安心して暮らせる地域づくりに向け、地域包括ケアシステムを構築・推進します				
高齢者虐待防止の推進	2	1	1	令和2年度に区民向けパンフレットの作成を見込んでいます
いきいきプラザ一番町管理運営	358	—	—	令和2年度に策定される仮施設の基本設計に基づき、施設整備を推進します
高齢者総合サポートセンター管理運営（総合相談）	133	133	133	引き続き、総合相談を実施します
高齢者総合サポートセンター管理運営（指定管理料）	136	136	136	引き続き、高齢者総合サポートセンターの管理運営を実施します
介護施設運営助成	144	144	144	引き続き、介護施設運営助成を実施します
よろず総合相談	49	62	62	令和3年度から相談体制の拡充を見込んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
感染症や食中毒等を予防し、発生時には迅速な対応をする体制を整備します				
フレイル対策事業	12	12	12	引き続き、フレイル対策事業を実施します
(仮称)二番町高齢者施設の開設支援	73			令和2年度完了
(仮称)二番町高齢者施設の整備	989			令和2年度完了
包括的支援事業(介護保険特別会計)	44	44	44	引き続き、包括的支援事業を実施します
認知症高齢者を地域で見守り、支えるしくみを強化します				
認知症支援サービス	5	5	5	引き続き、認知症支援サービスを実施します
認知症総合支援事業(介護保険特別会計)	13	13	13	引き続き、認知症総合支援事業を実施します
障害があっても暮らしやすい地域をめざします				
福祉タクシー券支給	33	33	33	引き続き、福祉タクシー券支給を実施します
自動車燃料費助成	2	2	2	引き続き、自動車燃料費助成を実施します
難聴者補聴器購入費助成	1	1	1	引き続き、難聴者補聴器購入費助成を実施します
障害者福祉センターえみふる管理運営	289	297	296	指定管理料の収支計画に基づく経費を見込んでいます
障害者・障害福祉計画の改定	8			令和2年度完了
(仮称)神田錦町三丁目福祉施設整備の推進	22	22		令和3年度まで運営手法の調査実施を見込んでいます
(仮称)神田錦町三丁目福祉施設の整備	116	171	—	令和3年度までの運営手法の調査実施に基づき、施設整備を実施します
福祉サービスの質の維持・向上に努めるとともに、生活困窮者に対する生活支援を強化します				
生活困窮者自立支援(自立相談支援)	34	34	34	引き続き、自立相談支援の推進を実施します
社会福祉協議会支援	211	215	215	令和3年度に社会福祉協議会の分室開設を見込んでいます

■ 地域振興部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標		令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
事業名					
清潔で、風格ある、安全・安心なまちづくりを進めます					
生活環境改善推進	42	42	42	引き続き、生活環境改善の取組みを実施します	
喫煙所設置対策	351	353	368	屋内喫煙所設置数の増による維持管理費用の助成の増を見込んでいます	
客引き行為等の防止対策	52	52	52	引き続き、客引き行為等の防止対策を実施します	
ちよだ安全・安心ネットワークの推進	148	148	148	引き続き、青色回転灯パトロール車によるパトロールを実施します	
千代田区の魅力を効果的に発信するとともに、地方との連携により、区内地域の活力を高めます					
地方との連携支援	17	17	17	引き続き、地方との連携事業を進めていきます	
観光協会運営補助等	284	243	243	令和2年度は東京2020大会に向けた観光情報発信にかかる基盤整備関連経費を含んでいます	
中小企業や商工業の活性化を支援します					
中小企業等経営支援	8	8	8	引き続き、中小企業や商工業の活性化を支援します	
商工振興基本計画の改定	6	8		令和3年度完了	
区民が自主的に学習活動に取り組み、また、スポーツに親しめる環境づくりを進めます					
東京2020大会関連事業	113			令和2年度完了	
新スポーツセンター基本構想の策定	5	-	-	令和2年度に策定される基本構想に基づき、施設整備を推進します	
豊かな歴史や文化資源、文化芸術を気軽に楽しみ、親しめる環境づくりに取り組みます					
障害者アート世界展2020	87			令和2年度完了	
文化財保護事業運営	134	74	74	令和2年度は常磐橋関連経費を含んでいます	
地域力の向上を支援します					
(仮称) 外神田一丁目公共施設整備	2,564			令和2年度完了	

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
男女共同参画社会の実現をめざします				
男女平等推進行動計画の推進	5	7	1	令和3年度までは計画改定経費を含んでいます
中小企業従業員仕事と家庭の両立支援	5	5	5	引き続き、中小企業従業員の仕事と家庭の両立を支援します
国際交流・協力や平和活動を推進します				
国際交流・協力の推進	5	3	3	令和2年度は複数の大使館等との国際交流イベントを含んでいます

■環境まちづくり部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
事業名				
地域ごとのまちづくりのルールをつくります				
都市計画マスタープランの改定	17			令和2年度完了
地区の計画等の検討	16	16	16	引き続き、地区の計画等を検討します
秋葉原地域まちづくりの推進	5	5	5	引き続き、秋葉原地域のまちづくりを推進します
飯田橋・富士見地域まちづくりの推進	13	13	13	引き続き、飯田橋・富士見地域のまちづくりを推進します
神田駿河台地域まちづくりの推進	13	143	213	御茶ノ水駅聖橋口駅前広場機能整備の事業進捗を見込んでいます
神田駅周辺地域まちづくりの推進	4	4	4	引き続き、神田駅周辺地域のまちづくりを推進します
多様な暮らし方に対応した住まい・住環境づくりを進めます				
次世代育成住宅助成	151	151	151	引き続き、次世代育成住宅助成を実施します
(仮称)区立麹町仮住宅の整備	1,754			令和2年度完了
だれもが移動しやすい環境の整備を進めます				
コミュニティサイクル事業	1	1	1	引き続き、コミュニティサイクル事業を実施します
放置自転車対策	151	164	152	放置自転車等撤去システムを検討し、令和4年度の導入を見込んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標				
事業名	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
路面下空洞調査	22	40	18	路面下空洞調査の事業進捗を見込んでいます
公衆トイレのリフレッシュ	343			令和2年度完了
電線類地中化の推進	501	739	820	大神宮通り、多町大通り南周辺、二七通り、和泉公園周辺の事業進捗を見込んでいます
歩道の設置・拡幅整備	145	100	103	明大通りⅡ期の事業進捗を見込んでいます
橋梁の整備	928	1,419	1,503	お茶の水橋・後楽橋・雉子橋の事業進捗を見込んでいます
自転車道の整備	234	225	485	神田警察通りの事業進捗を見込んでいます
建物の耐震化を促進します				
屋外広告物及び看板等の安全推進	40			令和2年度完了
建物の耐震化等促進事業	462	634	726	耐震診断や耐震改修等の助成経費の増加を見込んでいます
耐震改修促進計画の改定	6			令和2年度完了
身近な緑を増やし、うるおいのあるまちをめざします				
区の花さくらの再生	13	16	16	千鳥ヶ淵等のさくらの維持・再生経費の増加を見込んでいます
外濠公園総合グラウンド整備	4	—	—	令和2年度の整備手法の調査・検討に基づき、設計・工事を実施します
東郷元帥記念公園の整備	486	592		令和3年度の工事完了を見込んでいます
錦華公園の整備	24	120	180	令和2年度に設計し、令和3・4年度での工事を見込んでいます
地域ごとの特性を踏まえた景観を守り育て、千代田区の魅力を高めます				
景観計画の策定等	7	7	7	引き続き、景観行政団体として事業を実施します
地球に優しい環境づくりを進めます				
ヒートアイランド対策の推進	29	30	32	クールスポットやヒートアイランド対策の助成経費の増加を見込んでいます
地球温暖化対策の推進	12	5	5	令和2年度は地球温暖化対策等の検証業務を含んでいます

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標 事業名	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
	建築物の省エネ推進	75	77	
第4次実行計画の推進	15	15	15	引き続き、千代田区地球温暖化対策第4次実行計画に基づき、事業を実施します
資源循環型都市をめざします				
ごみの収集・運搬	384	379	379	令和2年度は東京2020大会の特別収集を含んでいます
資源回収事業	582	561	561	令和2年度は東京2020大会の特別収集を含んでいます
事業系ごみ等対策	2	2	2	引き続き、事業系のごみ対策を実施します

■ 政策経営部

(単位：百万円)

ちよだみらいプロジェクトの施策の目標 事業名	令和2年度 予算額	令和3年度 見込額	令和4年度 見込額	見込額の考え方
	みんなで助けあう減災のまちづくりを進めます			
情報連絡網の整備	140	90	75	令和2年度に配付する防災ラジオ等の追加配付及び令和3年度に無線機器の更新を見込んでいます
避難所等の停電対策	45	15	15	令和2年度に避難所等へ配備する蓄電池のリース経費を見込んでいます
水害・土砂災害対策	9			令和2年度完了
質の高い、効果的で効率的な区政運営を推進します				
RPA・AIの導入	83	—	—	令和2年度までの効果検証を踏まえ、ICTの活用等による事務の効率化を進めます
債権管理の適正化	3	3	3	引き続き、債権管理の適正化を進めます
公共施設整備等の方針検討	6			令和2年度完了
旧和泉町ポンプ所跡地の購入	761			令和2年度完了
総合住民サービスシステムのリプレース	640	1,233	725	令和4年度の新システム運用開始に向けて構築を進めます
総合行政システムのリプレース	62	626		令和4年度の新システム運用開始に向けて構築を進めます